

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
30代の人まで幅広い人たちを対象にしていますすごいなと思った。こども育成支援会議の構成員も学生や保護者がいてよりよい政策ができそうだなとおもった。	春日丘高校の近くにもおにくるのような施設がほしい。また、飲食自由にしてほしい。 茨木イオンのフードコートで勉強できるようにしてほしい。	結婚はしているかもしれないが、子どもはいないと思う。
高校生になってから初めて茨木市に関わるようになったので、知らないことも多く、ユースプラザや様々な支援施設があることが知れて興味を持ちました。	もっと簡単に子どもが助けを求められる環境になればいいなと思います。不登校になってしまうほど悩んでいる人は、不登校になる前に長い間悩んだ結果そうなると思うので、なるべくハードルが低く、学校の先生に相談できなくても自分でその場所に向かえば相談できるような場所を作って限界を迎える前に解決できる環境が必要だと思います。	看護師として働きたいと思う。 子供が好きなので子育てはしてみたいと思っているが、仕事のキャリアのことも考えたい。
子供の定義は年齢が18歳未満であることだと思っていたけど茨木市では子供のサービスを必要としている人という定義だと知って驚いた。子供やその家族がよりよく過ごしていけるように様々なサービスが充実していて良いなと思った。途中ででてきた建物をこの前見つけて、何がある建物なのだろうと疑問に思っていたからどんな建物か行ってみたくなった。	不登校の子が社会との繋がりを持てるような施設を作る。普通の学校は一日6時間授業があったり、1クラスにたくさん人がいたり行くハードルが高いから、1日2時間授業で1クラス10人くらいの行くハードルが低い第二の学校を作る。少しでも良いから毎日行くということを目指す。	子育てをしている。
第三の居場所というものを初めて聞いて興味を持った。実際にそこから学校へ登校することにつながった子もいるときいてすごいと思ったし現実的でいいなと思った。	おにくるにもあると思うけど自習スペースがいいと思う。学校の授業についていけない子のサポートとかもいいと思った。	働きやすいいいところに就職して自分のしたいことを自由にできる人
茨木市は、子育てに関する施策が充実していることがわかった。不登校の施策に関しては、未成年だけでなく39歳までの若者にも支援してくれていることを初めて知った。	母子ともに安心して出産できるような施策。子どもが多い世帯に対してお金やものを支援する施策。	家庭をもって幸せに暮らしている。仕事と家庭がうまく両立できているかは不安だけど、生活費のために働いていると思う。子どもは2人くらい。
茨木市は自分が住んでいるところではやっていない取り組みをしていてびっくりした。不登校の人数はどんどん増えていると思うので、それを解決したり、その後のことまで考えていて、全国に広めていくべきだと思った。	仕事体験を一年に一回行う。	仕事をしている。家庭がある。
茨木市では子どもを18歳未満ではなく、40歳未満として扱っているところにとっても驚きました。不登校の子供だけでなく引きこもりになってしまっている方々への施策もたくさん行われていることを初めて知りました。	留学にかかる費用の一部を保証してもらうことです。	素敵な方と結婚して子どもがほしいです。
誰も孤立しないために、様々なサポート等を行っているのが立派だと思いました。また、意見を反映出来るように具体的な解決策を実行されており、茨木市の学校に来たことが安心しました。	浪人生になった場合の安心出来る所属先がほしい。また、大学の授業料の軽減。	子どもはいらないから仕事頑張る！
未成年だけでなく、30代の人まで政策を受けれるのがすごいと思いました。不登校の人も孤立しないための制作があっていいと思いました。	不登校や塾が行けない人のために、勉強を教えてくれるようなところがあればいいと思いました。	結婚して子育てをしながら仕事もしたいと思います。
おニクルやユースプラザ、などの子ども支援は非常に良い取り組みばかりでいいと思った。しかし、小中高生や若者などからの意見をより取り入れるとさらに良くなると思う。	私はユースプラザパーチスペースに行ったことがあり、職員さんとの距離も近いしすごく良い施設だと思った。このような施設を小学生向けにも作ればいいと思う。	働いて貯金500万
茨木市にこういう施策があることを始めて知って、私たちにとてもすごくありがたいなと思いました。	私の住んでいる地域(東雲中学校区)に自習できる場所を設けてほしいです。	幸せな家庭を築いて、仕事も安定していたらいいなとは思っています。
不登校にはならないほうが良くて、なる前に子どものための仕組みがたくさん用意されてるから相談することが大切だとわかった。	大学の授業料等や模試を無償化してほしい	仕事を頑張ってる

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
自分の知らないところでたくさんの取り組みがされていて、自分も今まで生きてきてそのような取り組みにきっとたくさん助けられていたんだと思った。 思ったよりも多く、細かく活動されていて本当にすごいなと思った。	共通の趣味や特技などを持つ人達で集まって関われるところを作る。（学校ではそのことを本当に理解してもらえなかったりすることも共感をもらえたりすると思うから。）	安定した収入を得られる仕事についていて、家族を支えられるようなしっかりした自立した大人。
たくさんの施策を行なっていることをはじめて知りました。	市内に自習スペースを増やしてほしいです。	結婚していて子どもが欲しい。
自分は茨木市民なので、こんなに子どものことを市が考えてくれてるんだなあと思って驚いた。おにくる＝勉強する場所 というイメージでずっとおにくるを利用してたけど、子育ての支援センターがあったりして、市民みんなの場所であるということを実感した。ユースプラザという場所があるのを知らなかった。中学校には同じクラスに3人くらい不登校がいたから、その人たちが支援機関を利用していたのかはわからないけど、身近の話だなあと感じた。	学校の授業で寝る時間を設ける（スペインとかで導入されてる）	収入が安定した会社に就職する。結婚する（夢）
茨木市がどのようにして子どもの支援を行っていたのかがわかった。	子どもの教育大学まで完全無償化 自分がしたいこと、なりたい夢を思い切って目指せるような環境	楽しく仕事をする。結婚してる。
茨木市が行っている子育て施策についてわかった	いじめなどを学校側が家庭に共有する	結婚している
昨今の不登校など子育てに関する課題や、それを支援するような施設や制作について知ることができ良かった。	誰でも使えるような自習室を作してほしい、大学まで授業料無償化してほしい	何かしらの仕事について働いている？おそらく結婚はしてない
茨木市では子どものために、様々な取り組みを行っているけど、自分が住んでいる市もなにか取り組みんでいるのかが気になった。	こどもが生きていける術や、場所を見つけられる施策	自分がしたいことを沢山できている。幸せな家庭を築けている。
茨木市では、子どもが元気にそして、安心して暮らせるように工夫されていて、いいなとおもった。また自分の住んでいる地域ではどんな施策が行われていおるんだろうと思い、調べてみようと思った。	大学の授業料無償化、スポーツにお金がかからない。	趣味を見つけて没頭している。
私は茨木市民ですが、ユースプラザって言うところを知らず、そういう場所があることに安心出来ました。	おにくるいつもお世話になってるのですが、自習スペースがいつも満席でとるのが難しいので、おにくるをもうひとつ増やすか、自習スペースを増やすなどして欲しいです。	35歳
茨木市においての子どもの定義は未成年ではなく、ころとからだの発達過程にあるこどもや若者だということがわかった。不登校の学生や、引きこもり、ヤングケアラーなどを対象とした様々な施策があることを知った。自分の周りの人や、自分の生活やところが苦しくなってしまったときに支援を受けられるように、どのようなことをしているのか、もっと詳しく知ろうと思った。また自分が大人になったとき、そのような子どもたちを支援できるようになりたいと思った。	気軽に遊べる場所やいろいろな人と交流が持てる施設があるといいと思った。	仕事をしながら、趣味などを楽しんでいると思う。
不登校そのものが悪いわけではなく、社会との関係がなくなり孤立してしまうのが良くないということになるほどと思った。お話を聞くまでこの政策があることを知らなかったので年齢関係なくもっと色々な人に知って欲しいと思った。	好きなことが同じである友達を見つけられるコミュニティをつくる。公園やスポーツをできる場所、自習室など子供が放課後に家だけでなく活動できる場所をつくる。	結婚して、子供を育てながら充実した生活を送っていたい。
茨木市の子どもたちが安心して楽しく過ごせるようにいろいろな施策を考えて、子どもたちの夢を実現しようとしてくださっていることがわかりました。私は茨木市民ではないけど茨木市の高校の生徒として良い話を聞けました。これをこれからの世代にも受け継いでいかなければいけないなと思いました。	お金があまりなくても大学に行ける	安定した収入のパートナーと幸せな家庭を築いている。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
子供といっても小さい子だけじゃなくて、支援が必要な人のための幅広い施策を考えていて、大変そうけどすごくやりがいがありそうだと思いました。	オニクルの公式サイトをもっとわかりやすくしてほしいです。	仕事をしてる(結婚は多分してない)
今まで、「こども施策」と聞くと、高校生くらいまでのための支援だと思っていましたが、この授業を通して、茨木市は最大39歳まで支援をしている事がわかり、とても手厚いサポートだと感じました。	交流スペース(自由に使える机や椅子がある、ブースなど)があると嬉しいです。 自習ができる場所(おにクルみたいなどころ)がほしいです。	働いている。もしかしたら結婚しているかもしれない。
茨木市が行っている子供政策についてよく知れた。	大学の無償化	結婚して子供1人
子どもの定義は18歳未満の人だと思っていたから、39歳まで支援が受けられることを知って驚いた。	大学までの授業料無料	結婚してこどもがいる
一時的な支援だけでなく継続的な応援をしてくれるところがすごいとおもった。	ユースプラウザの施設数をもっと増やしてより多くの人々が使えるようにしたら良いと思う 子どもがもっと身近に恩恵を感じられるように活動を拡大して行ってほしいと思った。	仕事をして稼いだお金で遊ぶ
私は茨木市民ではないけれど私の住む地域の近くでは幅広い年齢そうに対しての支援が計画・実行されていていいなとおもいました。	子育てを頑張っている保護者を支援したいです。具体的には、未就学児の無料預かりや保護者のメンタルケアです。	結婚して、こどもは中学生くらいで仕事もできたらいいなと思います
茨木市に住んでいるけれど、子育てを支援する制度があるなんて知らなかったのですごく興味深かったです。おニクルやユースプラザなど、名前は聞いたことがあるけどいったことがない施設を紹介していただいてまた家で調べてみたいと思いました。	私立学校の入学金の何割かを市や府が負担する	28歳くらいまでに結婚して子どもを産みたい
子どものために色々な政策を考えていたことを初めて知って驚いたし、もっと詳しく知りたいと思った。不登校の子やヤングケアラーの子のための支援が思っていたよりもたくさんあってしっかり考えられているんだなと思った。	高校や大学などの受験料の無償化や補助 高校まで義務教育	土日祝が休みの仕事に就いている
たくさんの支援をしてくださっているのにも関わらず、こうして教えていただくまで知らなかったことがとても残念です。行政、と聞くと関係するはずなのにどこか遠いような気がしてしまっていたのですが、こうしたたくさんの支援があるからこそ自由に成長することができるのではないかと考えました。私は何不自由なく生活できていますが、体が弱く学校に通うことが難しい友人がいます。学校は離れてしまい会う回数が少なくなっていたのですが、授業を聞いて、話すだけでも力になれるかもしれないと思えるようになりました。支援について知るだけで終わらせるのではなく、知った上で何ができるのか考えたいです。	私は中学生のとき体力をつけるために運動部に入りましたが、運動が得意ではなく参加するのも嫌になってしまいました。ですが今いる軽音部はとても楽しいです。自分が音楽が好きだと初めて知りました。私の他にも、機会に恵まれないだけで色々なことの楽しさを知らない人が多いのではないのでしょうか。 こうした色々な経験が手軽にできる機会が生まれてほしいです。	結婚するまでは仕事をして、結婚してからは仕事を辞めてパートをする。 結婚できなければそのまま働いて自由に生きる。
自分たちの知らないところで自分たちに関する施策や取り組みを考えてくださっていて、今回のお話で知れてよかったと思った。施策に直接関わる人が発案していくのはとても良い考えだと思った。おにクルにはまだ行ったことはないけれど、行ったことのある妹が楽しそうにおにクルの話をしていたので、時間が空いたときに友達と一緒に行きたいと思った。	他校の人たちとも関われる、合同のイベントを開催する	自分の好きなことを続けながら、仕事をしていると思う
自分は知らないうちに多くの支援を受けていたのかなと思った。	体育館がいっぱいほしい。	仕事をして趣味を楽しんでいる。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
現在、物価高騰、賃金の割安、子どもが育てにくい、育ちにくい環境というのが問題となり、少子高齢化を進めているけれど、茨木市はそんな現状を深刻だと認識し、若者層がより生きやすい、育ちやすい環境を作れるように頑張っていることがわかった。 また、私自身がオニクルに通ったりしているということもあり、茨木の次世代育成支援行動計画が上手く進んでいるものと思った。	小さい頃から夢について考える機会を設けるものだと思います。 夢というのは、子どもたちにとってかなり遠いものであると考えるので、夢を叶えようとしている人、夢を叶えた人の話しや交流をできるような施策が必要だと思う。	子どもと終末には外に遊びに行ったり、自分の趣味(陸上など)をしたりしたい。 そのためにスキルアップを常に考え、効率よく、仕事をしていきたい。
私は茨木市民ではないので茨木市の小中高での不登校の人数やその理由など全然知らなかったのですが、それに対して茨木市民の子どもや大人の声を聞きながら計画を立てみんなが生活をしやすいようなまちづくりをしていることに感心しました。 できる限り市民の皆さんの願いを叶えようとしている姿に感動しました。	学校での行事や学校に行くまでの交通費を無料に	結婚をして子育てと仕事を両立している。
茨木市の不登校の人数が思っていた以上に多くてびっくりしました。高槻市に住んでいるので高槻市についてのことも気になると思いました。お手伝いとヤングケアラーの違いを知れてよかったです。子ども育成支援会議に高校生を募集するのがすごくいい案だなと思いました。	学校に行けていない子が無料で昼食を食べることができる場所がある。	海外に行って仕事をしている。
茨木市では、今どんな施策があり、どんな計画がなされているのかわかった。私は茨木市民で、施策に触れる機会が多いと思う。自分が困ったとき、うまく活用できるといいなと思った。	私立大学の無償化	子育てをしていて、時間は少ないが仕事もしている。子どもの進路のための貯金もしていて、市の施策も活用し、子どもが望む進路を選びやすいようにしている。
茨木は、たくさんの支援をしていることを初めて知りました。自分は茨木市民ではないから、おにくるやたくさん居場所があるのは羨ましいです。自分の住んでいる地域でも行ってほしいなあとおもいました。	配られたプリントに書いてあった、「習い事の支援を行うこと」はとてもいいなあとと思います。自分も昔たくさんのならいごとをさせてもらって、趣味がふえたりしてとてもいい思い出もできたから、たくさんのこどもたちにたくさんの経験をしてほしいと思います。	バリバリ働いてだいすきなわんちゃんと生きていきたいです。
かなり何回も考えられていることなんだなと思った。こちらがふと思った疑問がすぐに解消されたから。施設もかなり充実している感じでいいなと思った。引きこもってずっとゲームをしていたこのことを、プラスに見るとするのはその子にとってもその子の保護者さんにとっても嬉しいというか、安心した気持ちでゆっくりと成長できているんだなみたいな感じがした。	好きなことや得意なことを伸ばすことができる。生活の基本的なことが学べる。本が充実している。生きていけるぐらいの知識と技術を身につけることができる。	空間デザインや商品やスイーツなどのデザインなど芸術的な仕事や素敵な空間を作ることに関わる仕事に就く。好きな時に仕事ができて、日中は公園で散歩できるほどの余裕が欲しい。妹のことを支援できるほどお金を貯めておける。
不登校の子どもに向けての支援などをしているのは学校だけだと思っていたが、茨木市がユースプラザなどを設けているおかげで他の人とコミュニケーションができるようになった人がいたりなど、自分が気づかないところで支援しているということがわかった。また、私達子どもの支援をしてくれていることに対し、さらに感謝の気持ちができた。	小、中学生の給食費を無料にする。 公立幼稚園の費用を半分、市が支援する。	毎日仕事に励んでおり、結婚して子育てを頑張っており、子どもは小学生くらい。小どもの気持ちをしっかり考え出す。
自分の通っていた中学校でも不登校が結構いていたけれど、茨木市ではその不登校の人が学校に来やすいようにするためにたくさんの工夫をしているんだなと思った。	私立大学無償化	海外に住む。
自分が思っていたよりも不登校の人の数は多いのだと知って驚いた。茨木市では子どもや若者への支援が充実しているのだと知って、悩んでいてもいなくても子どもが安心できる環境なのだと感じた。子どもが生きやすい空間にするために何度も審議を重ねてたくさんの人の意見を取り入れようとしていて素敵だなと思った。	子どもがやりたいと思うことが十分にできるように施設をたくさん増やすといいと思う。公園や図書館など子どもが遊びやすいところがあると良いと思う。大人と子どもと一緒に過ごせる空間も、それぞれで過ごせる空間があると良いと思う	仕事もそれ以外の時間も安定して楽しめるようになっていて良いと思う。
茨木市の子ども施策について興味を持った。ヤングケアラーに対する支援を行われていて素晴らしいなと思った	作業できたり、遊んだりできる場所がほしい。	仕事を頑張って家庭を持っている未来
茨木市でやっている子ども施策のことがわかった。いろいろなことをやっていてすごいなと思った。	大学まで授業料無償	結婚

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
今回の授業を受けて思っている以上に茨木市の不登校者が多くそれに対応するため様々な取り組みをしているのだとわかった。このことを他人事だと思うのではなく自分事として色々考える必要があると思った。	おにくるみみたいな勉強のできる場所をもっと増やす。	結婚して茨木市に住む。
茨木市の子どもについての政策がよくわかった。自分は茨木市民ではないので、自分が住んでいる市の子ども政策にも興味を持った。	私立の大学の授業料無償化	会社に入って仕事をたくさんこなしている。
学校に来れない不登校の子が茨木市に800万人いることに驚いた。そういうことを減らしていく取り組みを茨木市民として考えていく必要があると思った。	子どもが喜ぶような施設を色んな場所に増やす。	良い仕事をしている。結婚をして10歳ぐらいの子どもがいる。
ユースプラザの存在を初めて知って、良い施設だと感じた。	大学まで授業料無料	結婚して一軒家に住む。
こどもや若者が生きやすいまちを作ることはとても大切だということがわかりました。	自分の悩みを打ち明けられる場を設ける	どこかの会社で営業している。
私は大阪市在住なので茨木市が子供のことをしっかり考え、子供がイキイキとして過ごせるように努力をしていて素晴らしいと思いました。また、言うだけでなく、建物を作るなど行動に移していてすごいなと思いました。	不登校の子供達も勉強出来るような場所を作って欲しい	幸せな家庭を築いている
私が行ってた中学校は不登校が多かったけど、あまり関わる事がなかったりそういう授業がなかったから今回、こども政策について知れてよかったです。	好きなことを自由にできて、誰もが居心地が良いと思える学校があればいいなと思った。18歳未満の人は医療料が無料とか半額とかしたらいいと思った。	結婚して働いている
未成年だけでなく支援が必要な人を年齢関係なくサポートしているところがすごいと思った。ヤングケアラーや不登校の人の原因を考えてサポートしているので茨木市は色んな人が生活しやすい場所だと感じた。	塾に通っていないので無料の自習室がほしい。	結婚して子育てをしている。
茨木市のこども施策について今まで話を聞いたことがなかったので詳しく話を聞けて良かったと思います。不登校やひきこもりの人のためにユースプラザが市内に5箇所もあるのはすごいと思いました。ユースプラザに行くことで引きこもりが解消できる人もいて進級もできるのはすごいと思いました。	大学までの授業料や保育園の費用を無償にしてどんな家庭でもしっかりと教育を受けれるようにしてほしいと思いました。	働いている
茨木市のこども政策について知って、茨木市のこどもやその保護者のためにたくさんのことを行っていてすごいと思った。 私は茨木市民ではないが、私の市にもそのような政策があるのだと思い、それについて知りたくなった。こどもの支援関係に興味を持ったので自分の将来について改めてもっと考えようと思った。	・保育園から大学までにかかる費用を無償化 ・小中高生向けの公共の勉強スペースを増やす	結婚して子育てをしている。仕事にも励んでいる。
茨木市では「子ども」のためにたくさんの政策を考えたりしていると知ってすごいと思った。また、茨木市が子どものためにたくさん会議をしたり政策をしてくれたりしていることをみんながもっと知って、自分たちも他人事だと思わず、積極的に考えるべきだと思った。	子供が自分のやりたいことを好きなようにできる場を作る。	仕事をしながら、育児をしたりして、家族と過ごしていると思う。
不登校についてなど、案外身近なことなのにあまり知らないところが多いと感じたので新しいことを知れるととてもいい機会でした。	家庭の事情などで習い事ができない子供を支援できるような施策。	仕事

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
子供の意見を取り入れる姿勢がすごいと感じた。	大学の授業料が無償になること。	結婚して子育てをしている。仕事はやめない。
茨木市だけで不登校の人数が800人ぐらいいると聞くと多いなと思いました。	子どもがしたいことをやらせる	立派に仕事ができたらいいなと思います
高校生を委員会にいれるのが良い案だと思った。	お金がもらえる。	結婚して子どもがいる。
将来、茨木に住んだときに役に立ちそうだなあと考えた。	電車賃無料	楽な仕事をして暮らす。
子供のためにたくさんのことを行っていることがわかった。私たちも何か協力できることがあるといいと思った。興味を持つことは大切だと思った。	給食無償化 私学無償化 大学無償化 保育園家に向かいにきてくれる 急に仕事とか入った時に預かってくれる。 一人一台家庭教師みたいなロボットをつける。 いじめとかを監視する機械などを導入する	仕事に追われていると思う。 結婚はしていると嬉しいけどしてないと思う。
茨木市における、様々な子供施策を学んで、茨木市が特に子供に対して頑張ってるんだな、と思った。	子供を育てるために必要な物を配布する。	バイク乗ってる。
私は茨木市民ではないし、今は不登校ではないけれど、おにクルに行ってみたり、ユースプラザに行ってみたりしたいなと思います。中学3年生のときに、1ヶ月くらい不登校だった時期があり、今日のお話を聞いて、共感できる場所や茨木市民が羨ましいと思うところなどなど、たくさんありました。	好きなことを学びやすい環境づくり(専門的なこととか)	海外で働いている！！
不登校も子供の数もどんどん悪い方向に向いていってるのが悲しいな思ったのと精神的にしんどい人を助けていきたいと思いました。	私は病院に定期的に通って色々な質問をしながら心拍数を測ったりして言えてないだけで辛い思いしている人を減らせたかなと思いました	仕事をいっぱいしてると思います
私の学校は、不登校の子が多かった。だけど、あまり、そんな子達のための施策はなかった。だから、茨木はすごいと思った。	無理に不登校をやめさせたりするのはよくないと思う。また、不登校の生徒だけでなく、それに関わった生徒たちや、不登校の原因になってしまった生徒のケアも必要だと思う。	社会の中の「幸せな形」に囚われず、独身でも、家族がいなくても、好きなことをしてほしい。
茨木市は不登校の人や生活に困っている人のために手厚いサポートやアドバイスを行っていることを知ってすごいと思いました。	テニスコートを増やしてほしい。	人を助ける仕事
茨木市だけでなく多くの市町村のこども施策の情報を積極的に入手していきたいと思いました。将来の自分が生きていくうえで、受けられる支援について考えることができて良かったです。	大人数の子供で遊べる、スポーツやゲーム	結婚して、子供もいて家族をつくる。
子どもは十人十色な性格を持っていて、それぞれにあった支援が必要になるため、簡単に支援を進めることはできないと思った。しかし、だからこそ茨木市 こども政策課は、子どもの意見も取り入れて、より良い支援を目指しているということを知り、自分には何ができるのかについても考えたいと思った。	中学や高校に進学することに対する不安を減らすために、進学後のイメージがもっとしやすくなるような支援があればいいと思う。	何をしているのかはあまりイメージできないが、地元を離れずに、日々仕事に追われていると思う。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
茨木市は子どものための政策がたくさんあるんだなと思いました。	公園とか遊べる場所がたくさんある	趣味を楽しんでる
茨木市の子供に対する視線が熱いなと思って良いなと思いました。子育てや出産の人が過ごしやすく工夫がされてる部分がたくさんあって設備が整っていてすごく暮らしやすさがあるなと思いました。それがあるのは子供や大人の人が意見を出し合い、話し合っているからなんだなと思いました。	自転車を借りれるサービス、子供を預けることのできる施設、小さい子と触れ合うことのできる施設	結婚して子育てしている主婦
不登校になってしまうことを防ぐべく新たな居場所が提供されることはとてもいいなと思った。	みんなの交流ができるコミュニティが増えること。	仕事
子供への対策を生まれる前から大学生になるまで行ってくれっていることを知って、ずっと助けられていることにありがたいと感じた。	大学まで授業料補償 塾代補助	仕事をしつつ育児を頑張る
茨木市の不登校の人の理由や、市で行っている子供政策の会議を知ることが出来て、茨木市は子供の育成に力を入れていることがわかった。	どの子供も平等で学校を大学まで無償でいけるようになったら心配がいらなくてすむようになると思った。	しっかりとした職業について猫を飼う
非常に興味深い	いじめがない、一人一人に本当に寄り添ったロボットを導入し、孤独をなくす。	独身貴族。猫を飼いたい。できればまんまるふさふさのかわいい奴。 60ぐらいで死んでも悔いのないように生きたい。
今の社会で、成人した19歳以上の市民も「こども」として扱われ、サポートしてもらえるところがすごく素敵だなと思いました。また、不登校の生徒に対して、真摯に向き合ってくれる窓口が設置されていることが、こどもに対して真剣に向き合っている証拠だなと感じました。（不登校などの相談は学校などは怠りがちなのではないかなと思うので…）	今のご時世では、おにクルのように自習ができたり、無料で使用できたりする場所がとても少ないと感じるので、学生が金銭面や安全面、周りからの目を気にせずにご利用できる場所を各所に設置すること。定期券を安くすること。	仕事をして、たくさんの貯蓄を蓄えてたいです。
茨木市が支援等が充実していて、すごく住みやすい町だと思った。自分は茨木市在住ではないけれど、市の建物(おにクル)はよく利用させて貰っていてすごく便利だし、自分の市の子供支援にどんなものがあるのか気になった。	おにクルを増やしてほしい	仕事を順調にこなしている
自分の見えていないところでも困っている人がいて、そのために様々な人がいろいろな方法で助けの手を差し伸べていることを知って困ったときは誰かに頼れるんだなと安心した。 自分の住んでいる市でも取り組まれていることについて知ろうと思った。	無料の自習スペースを増やす	結婚して
学生や成人までではなく、必要な人が必要な支援を受けられるように動いてくださっている人がいることを改めて知った。また、不登校の人などにとって大きな心の支えとなる存在だろうと感じ、そのような存在がなくならないように、自分もできることをしようと思った。	子供たちが自由に交流ができる施設	結婚して子供をもっていたい。そして、家族みんなが安心して過ごすことができる環境を整え、子育てや仕事に励みたい。
数人しか不登校はいないと思っていたけれど、700人ほどいると聞いて自分にも何か出来ることがあればいいと感じました。身近に不登校の子が中学のときいたけど1度も来なかったりして話しかけることも出来なかったから子供育成会議に応募したかったけれど茨木市民じゃないので高槻市にも作って欲しいと思いました。	マタニティマークに男の人をいれてほしい	イケメンの高収入の男性と結婚して子供は二人いて夫婦円満でランボルギーニに乗って楽しんでいる。二人の子供には同じだけ愛情を注いでもし子供が不登校などになったら市町村の活動も頼っていきたい。
もっと子ども政策について考えてくれる市が増えてほしいなと思いました。	大学まで無償。経済的理由で将来の可能性を狭められるのは不平等	結婚せずバリバリ働いてそう
茨木市の子供もに關しての政策についてとても考えられていてすごいと思った。	高校にも給食導入	結婚して子どものために仕事する

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
いままで知らなかったことをしれてよかった。わたしたちの知らないところでいろいろなことが実施されていると知り、高槻でも同じような取り組みがされているのだらうと思い、感謝した。	いろいろな人と関われる公園。	結婚して、子どもといっしょに楽しく暮らしたい。
これから誰かに任せて将来を考えるのではなく自分たちで考えていくことが大切だと思った。自分以外にも様々なことで苦しんでいる人がいると思うのでその人達が笑顔でいれるように工夫を考えていきたいと思う。	大学までの教育費の無償化	仕事をしていると思う
茨木市は他の市と比べて子ども施策が進んでいることがわかった。自分の住んでいる市ではどういう政策をしているのか気になった。調べてみようと思った。	家と学校に距離があり通学が大変な子のためにスクールバスがあってほしいと思った。	仕事を頑張っていてほしいと思った。結婚してたらいいなと思った。
今まで行政がこのような支援をしているイメージがなかったけど、いろいろなことをしていることがわかって、自分が住んでいる町は何をしているのか調べてみようと思った。	塾の授業料の補助金があったらいいと思う。	仕事をして自立して生活をしていてほしい。
実際に茨木市の職員の方の話を聞いて、茨木市がとても大きな目標を持っていて志高い組織であることがわかりました。また、実際に市民の声を取り入れるという点を、これから組織に加入したときに活かしていきたいなと思いました。	小中学校の生徒全員の給食費を無償化する。 貧困世帯を限りなく減らす。	世界で活躍する人材となり、世の中に貢献する一方で、自身のプライベートも充実させ、妻や子との生活を楽しんでいる。
自分の住んでいる街ではないが、子どもが活躍できるような政策がされていていいなと思った。また、様々な子どもが活躍できるようにいろいろな状態を考えた、施設や政策が考えられてていいなと思った。	もっと自由にのびのびと部活動ができるようにしてほしい。（金銭的な支援や、指導者などの支援）	結婚して子どもを一人でも生んでいる状態になっていたいと思っている。仕事も無理の範囲で、働ける両立した生活を送りたいと思っている。
茨木市民ではないですが、子ども支援のために様々な政策があることがわかりました。それと同時にそのような政策があることもあまり知らなかったことがわかったので、情報が知れる場がもっと増えればいいなと思いました。	学校制服の無償化	仕事とプライベートのバランスを良くとっているような未来
私は吹田市に住んでいるが、ヤングケアラーや不登校の対策を知れたし、行政の取組を身近に感じることができた。。	大学無償化　奨学金制度の対象者の規制緩和	結婚しつつ仕事にも復帰している。子どもも二人いる。
ユースプラザなど初めて知ることが多く、市民が暮らしていくことにとても寄り添っていると感じた。ヤングケアラーとは家の家事をするだけではなく、家族の心を支える負担が大きい人もだということを知り、ヤングケアラーについて詳しく知らない人が多いから、なかなかヤングケアラーの問題が解決しないと感じた。	光熱費がすべて無料になる。学校に行けなくても勉強のサポートがしっかりしていて、進学しやすくなる。	結構していて子供が二人いて、休みの日は家族でピクニックにいたりしている。
茨木市に住んでいるけれどユースプラザなどの施設があることは知らなかった。様々な取り組みをもっと知り、もし困ったら活用してみたいと思った。新たな事を知る良い機会となった。	自習ができるスペースを増やしてほしい	仕事を頑張っている
自分が思っているより施策が充実しているし、おにくるがそんな施設だったとは思わなかった。不登校になっても、コミュニティの場があるのはすごく安心できるなと感じた。	自分の趣味を存分に話し合ったり、誰かと一緒に楽しめる場所があったらいいな、 と思うし、他にも、授業でわからないところとか、休んでいる間においていかれてしまったところを、みんなで勉強し会える場所とかあったら安心だなと思う。	仕事をして、自分の趣味を楽しめているような未来。
今回の授業を通して、茨木市が子どもに対してどのような態度で行政を回しているのかわかった。こうやって市の政策に密接に触れ合うことはあんまり経験したことがなかったため、今回の経験は自分にとって大きな学びになったと思った。	大学授業料無償 高槻に治安、設備が良い自習室をください	楽しく仕事してる
思っていたよりも不登校の生徒の割合が少なかったのが驚きました。兄が不登校だったので、今の ような状況であれば学校に行けていたかもしれないと思いました。	小中学校とは別の義務教育の道を作る。夜にも外に出歩きやすいように治安を良く する。	一人または配偶者とともに暮らしている。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
茨木市では、不登校の人や支援する必要がある人を対象に、支援センターやユースプラザなどの支援機関を立ててサポートしていることが分かりました。摂津市に住んでいるのですが、摂津市ではこのような人たちにどのような支援をしているのか興味を持ったので、また調べてみたいと思います。	大学の授業が無料になったらいいな、奨学金の返済が少なくなったらいいな	先生になってると思う。もし子どもを持っていたら、お金に余裕のある限り、できるだけ幸せにさせてあげたい。
茨木市民として誇り高かった	ボール遊びができる大型公園の設置	35歳 結婚 子持ち2人
茨木市の、子どものことをしっかり考えたり、当事者の意見を大切にする姿勢が良いと思った。	子ども一人一人を差別せずにしっかりと教育する	仕事している
自分は吹田に住んでいるが、市が違うだけで政策が異なる点が多くあって驚いた。また、吹田にもおにクルのような施設があり、そのような共通点があることも知れた。	早朝から夜遅くまであいていて、勉強を教えることができる先生が複数人いる自習室を様々な場所に欲しい。	薬剤師になっていてほしい。
もし茨木市民だったらこども育成支援会議の構成員に入りたかったです。	こどもが遊べる体育館や広い公園をふやす。習い事のお金を支給する。	結構してこどもは2人いる。職業はスポーツインストラクター。
「おにくる」は知っていて、行ったこともあったけれど、こんなにも様々な支援を行っていたことを初めて知りました。	兄弟にしんどくて悩みを抱えている人がいる場合に、同じ家族として周りで過ごす人たちの悩みも気軽に相談できる施設があればなと思いました。	家族全員の関係がもっと改善できればと思う。
多くの大人の方が、子どものためにたくさんのことを考えてくれていると知って嬉しかったです。私は茨城市民ではないけどおニクルに行ってみたいなと思いました。	茨木市は、登下校の時間帯になるとすごく混み合うのもっと歩道を増やしてみんなが安全に通える取り組みをしてほしいです。	まだ想像できないけど、良い仕事にめぐりあえていたらいいなと思っています。そして大事な友だちもできていたら嬉しいです。
自分が茨木市民じゃないからという理由もあると思うけど、ユースプラザという名前を聞いたことがなかったため、子どもたちの間ではあまり広まっていないのではと考えてしまった。39歳はギリ若者ってのも初めて聞いたので、自分の価値観のアップデートに繋がる授業だと感じた。	中高生の部活動に補助金が支給されるとうれしい。こどもたちがやりたい活動が金銭面で制限されるのはあってはならないものだと思うので、学校による大きな差が生まれないように補助金(助成金?)がほしい。ユースプラザ等の施設があるのはすごくいいことだと思うし、どんどん作ったらいいと思うけど、肝心の子どもに広まっていないため、youtubeや駅前など様々な場所で広告を作り、宣伝するべきだと思う。	yonex社員 結婚済 二児の父 休日は子どもにバドミントン教えてる
自分の仲の良い友だちにも不登校になって大変な思いをしていた子がいたので、不登校の子どもたちを支援する取り組みをしていて、もっとこういう施設が増えてほしいなと思いました	子どもでもスポーツを自由にできたり、楽器を弾いたり、作曲したり、絵や漫画をかけたり、小説を作ったり、プログラミングや3D モデル、動画編集などいろいろなことができて、それぞれの才能を開花させやすい場所を作る	ゲーム関係の仕事に就いて、自分の趣味の範囲で漫画を描いたり、好きなことをしたりできる大人になりたい
不登校だったりヤングケアラーだったりする人たちを社会から孤立させないようにいろいろな政策を行っていることを知ることができました。他の政策や詳しい内容も知りたいと思いました。	家から学校が遠かったとしても志望校を変えなくていいように簡単に通学できるようにすべての高校にバスを置く。自転車が無かったり経済的な理由で電車を使えない人を使えるように無料で乗れるようなバス。	仕事をしていて子どもがいて家庭がある。
子どものためにこんなにも動いてくれている人がいるんだと思いました。不登校の子に向けて得意なことをみんなと共有する場所があるのわいいなと思いました。おにクルが茨木市にあるのを初めて知りました。外観が見た感じおしゃれだったので1度行ってみたいと思いました。	落ちたり、落ちた人を見ると、悲しくなるので、受験をなくしてほしい。しんどい思いをこんな早くからしないでいいと思う。	結婚していてほしい。子ども2人くらいいて、仕事もバリバリやっているはず。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
今回の授業を受けて、茨木市では子どもや家庭に関する様々な問題を、多様な観点から対策を講じ子どもが社会に参加できるようにしていることがわかりました。例えば、サードプレイスであるユースプラザを設置して、更に気軽に利用できる人を増やすため宣伝とともに子どもにも施策に参加してもらっていることや、高奥性を委員会に勧誘して幅広く意見を出し合っていることです。また、このような施策によって子どもや家庭が自分の将来を幸せにできたらと考えました。	私の小中学校では、不登校やいじめなどが少なくなかったので、誰でも学校に行きやすいような環境を作ること为目标として、いじめへの徹底的な対策、いじめに関する授業の実施、また不登校の方々が学校に行きやすい、行きたいと思えるような、クラスの人達とお互いのことをよく知れる機会を作る施策を実施してほしいです。	たくさん働いて有意義に人生を過ごしたいと思っています。結婚は気が合う人がいればなのでそこまで意欲はありませんが、子どもに関連した仕事にはついてみたいです。
私達の知らないところで様々な施策が行われているのだとわかった。これらの施策を享受するだけでなく、自分たちがどのような施策を必要としているのかなど、声を上げるべきでもあるとわかった。	家庭の事情で習い事などができない人は、審査制で補助金を出す。やりたくてもできないを減らしたい。子育て世帯への補助金は継続的に出す。あるタイミングで一気に出すのではなく、子どもが一定の年齢になるまでなど、制限を設けて継続的に。	音楽関係の仕事についていたい。音楽を通して様々な人々の支えになりたい。人々により良い音楽を届けたい。結婚はしていなくても一人暮らしなど、家族に迷惑をかけないように暮らしたい。
茨木市では様々な家庭環境に合わせて、支援を行えるようなサービスを運営し、そこで子供といった当事者だけではなくその子供と関わる親などにも関わり方についてアドバイスをしたりと不登校やヤングケアラーで苦しんでいる子供も社会復帰しやすい地域だなと思った。 また子供育成支援会議の中に高校生を募集するなど大人たちで解決せずに子供の声も聞くことでより子供中心の視点で現状の問題を解決するのに繋がると思った。そういった施策が行われている茨木市で困ってる子供が減り、向上心が上がるような増えたらいいと思った。	私は大学までの授業料無償化の施策が行われればよいと思う。 実際、頭が良いのに金銭面などの理由で私立に行けないので公立の志望校を下げるで行った家庭を多く見たことがある。そんな社会では良い人材がいるのに生かされておらず社会の発展につながらないとおもう。 そのため私はすべての人が平等に学校を選べるような政策を提案する。	わたしは20年後は自分のつきたい職業今は医療系か商品開発についてはやりがいを感じながら仕事をしたい。結婚はしていて、子供もほしい。でもプライベートはスポーツとかライブとかアウトドアとか充実した日々を送りたい。また海外旅行にも年に1回いけるようにになりたい。
茨木市に住んでいるのに、知らないことがたくさんあって、もっと知っておくべきだったなと思ったし、地域にもっとかかわろうとおもった。不登校についての市の対策や支援がこんなにたくさんあると思っていたからびっくりした。子育てや子供のに対する支援が想像していたより多くて、もっと茨木市が好きになった。将来この市で快適に住み続けるためにももっと茨木市に関心を持とうと改めて思った。	子供の遊び場所をもっと増やす。	大阪府から出ずに、近場の企業で働いていると思う。
私は学校や親にはもちろん市にもこれだけの支援が行われていたということをよく知ることができる機会になりました。家庭環境も人間関係もすべてがちがう子どもたちを支援することはなかなか困難なことだと感じました。	こどもがもっとお互いに関われる機会を増やしてほしい。気軽に遊びに行ける運動施設をつくったり、各学校で学期始まりにこの遊びをする、など関わる機会話す機会が少し増えるだけでも人間関係を築いていきやすいと思う。	熱心に仕事をしていると思う。学校の教師をしながら、独身でいるようなイメージがある。
わたしが住んでいるのは茨木市ではないのですが、地域に住むいろいろな人を対象として活動しているのがとても素敵だなと思いました。「おにクル」のような施設をまったく知らなかったけど、人と人が関わる場を提供することは大切なことなんだなと感じました。街の政策に目を向ける機会があまりないので、自分の住んでいる街の政策にはどんなものがあるのだろうと気になりました。	公立高校にも放課後に学校が塾教室になる、みたいなシステムがあったらすごくうれしいです。	養護教諭としてちいさな子どもたちと関わりながらいろいろな感情を享受し、安定した収入を得ることができるようにになりたいです。
今回の授業で、様々な悩みを持つ子供に対する取り組みがあり、それぞれに、適切な取り組みを作ったり、行ったりするために、様々な人が頑張っていることを学んだ。茨木市が特に不登校に対して力を入れているということも学んだ。	ユースプラザという施設が、最大限に有効活用ができていないように感じたので、ユースプラザの制度を少し変えたほうがいいと感じた。最大限に有効活用できていない理由は、不登校の子にとって、そのような施設に足をいれることは、とても難しいことであり、仮に足を踏み入れたとしても、人が集まる場所にマイナスなイメージを持っているため、その施設に入ることさえ、辛くなってしまうのではないかと考えた。さらに、「人と馴染めない」という理由で、不登校になる子もいるので、施設につれていくのではなく、人と直接会わないオンライン上で、カウンセリングをしたり、施設の紹介を行えばいいと考えた。他にも、慣れていないところに行くときに一緒にいると安心なのが、意外と親ではなく、友達だったりするので、ユースプラザに入ろうと考えている子供のグループをオンライン上で作らせたほうがいいと考えた。	仕事は、まだまだ決めていないが、物を自分自身で作成したり、人と交流したりする仕事をしたいなと感じた。結婚、子供はまだ考えていないです。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
子ども・若者支援についての事例紹介があったので、施策に結果が伴っていることを知れて良かったです。子ども育成支援会議も様々な視点での有意義な会議になるように多くの人を招いていて、今回高校生の方が増えてもっと、子どもに寄り添った施策ができることを楽しみにしています。少し、計画検討過程についての説明が少なかったように感じたので、主な施策をいつ検討するなどを紹介していただけたら嬉しいです。	所得での制限なしで、大学までの学費をなくしてもらえたら、子どもがほしいと考えている夫婦も前向きになれると思いますし、習い事やその子どもの特技を伸ばせるようにお金を使えるのではないかなと思います。また、大学までの学費をなくすとすると莫大な費用がかかるので、習い事ひとつ分の費用を市が負担してもらえたらありがたいなと思います。	私はきっと宇宙飛行士になって訓練を受けている頃だと思います。結婚はしているかわかりませんが職業柄支えてくれる人がその時にいてくれたら嬉しいです。子どもは多分ですがいないと思います。もし宇宙飛行士の試験を受ける段階にいるなら、仕事バリバリで自分の趣味ににお金を使えるようにしていると思います。
茨木市に住んでいるのにこんなにも知らないことがあったことに驚いた	おにクルはいろんな人が来て勉強とかできるけれどももう少し子どもが遊びやすい施設ができればいいと思う。	好きなことに関する仕事について趣味に没頭する。
いじめが原因で不登校になっている人は、いじめで気持ちがしんどいだけじゃなくて勉強も受けれていないから損ばかりしていると思った。 不登校の子が増えている現状に対してもっと色々な取り組みをすべきだと感じた。 今の自分にできることはあるのかも気になった。他の社会の問題もそうだけれど、みんなが関心を持つことが大切だと考えた。	地域の人とのつながりが昔と比べて減っているというのを中学校の社会の授業で習ったので、地域のイベントを増やす取り組みがいいと思った。	デザイナー
茨木市民なのにいろいろな施策がされていたことを知らず驚いた	大学まで無償化	トマトの品種改良を進め日本一のトマト農家になるか、ビッグな会社を作る。そのどちらかの道を進み年収1500万の男になる。
自分の市にはどんな施策があるのか調べてみて、どんなことをしているのかを知りたいと思いました。	就職しやすくなる。	建築関係や機械関係の会社に入り、ちゃんとした収入を得て、ペットと一緒に過ごす。
子供が不登校になり、学校に居場所が無くなってしまっても、そこから子供が復帰するために支援をしたり、新しい居場所を与える政策がたくさんあって、素敵だと思いました。	子供の個性や特技を伸ばし、将来仕事にも生かすことができる社会になる政策。	自分で身の回りのことができて、稼げるキャリアウーマン！！
自分は茨木市民ではないけれど、茨木市の政策や子どもに対する考え方がよく分かった。	おにクルのような市民以外でも使える施設がもっと増えたら嬉しいと思った。	結婚して子どもがいそうだった。
茨木市では子どもに対する手厚いサポートがされているとわかった。	一人ひとりの子どもにあった環境をつくりすべての子どもが生きやすい社会を作り上げること。	jraの職員になっていて同い年の女性と結婚している。子どもは2,3人ほしい。
茨木市の子どもの概念に値する年齢が30歳未満とかなり幅が広がってびっくりしました。 それぞれのライフステージの目標が違ったり、サポートがそれぞれ手厚かったりと、すぐ市民に寄り添ってくれる市なんだなと思いました。 私は中学三年の頃、病気で学校に行けなかった時期がありました。同じような子も身近にいました。当時は社会復帰できるか心配だったけど、今日の資料をみてたくさんの支援があると知って、少し安心しました。これからもたくさんの支援頑張してほしいです。	現在は少子高齢化が加速しているため、生まれた子供に対してももちろん、その子供を育てる親にも支援が行き届くような施策がいいなと思いました。 具体的には、よく使うおもちゃや日用品の贈呈、支援金があったり交通機関が無料になったり、公共施設の中にもっとその世代のブースを作るなど、とにかく産みやすく育てやすい環境を作る施策をしたいです。	とにかく生きて1人で十分な生活を送れていれば幸せです。出来れば結婚して家族以外の愛すべき人をちゃんと大事にしたいです。 仕事は高校や大学学んだことを行かせる職業につけていたらいいいなっておもいます。
子どものために茨木市はいろいろな施策をしていてすごいなと思った。また、おにくるのような施設がたくさんできたら良いなと思った。	無料でバスケやサッカーなどのスポーツをできる施設ができれば良いなと思った。	仕事をしながら子供も育てていると思う。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
不登校の子どもやヤングケアラーなど悩みや不安を抱えている子どもや、その親への手厚いサポートを行っているのがとても素敵だと思った。	茨木市だけではなく他の大阪府の市町村や全国の町がそれぞれ地域の子どもに寄り添った活動を行えるようになったらいいと思う。	楽しい仕事をしたいと思う
茨木市がなんの取り組みをしているのかがわかり、茨木市のことをもっと知りたくなった。	公立高校の無償化	ITの仕事をしている。
茨木市民ではないけれど、学校に通いにくい学生や生きづらさを感じている人への政策や施設をつくっているのがすごくいいなとおもいました。こどもまんなか社会という取り組みをはじめてきたのでこどもの考えや意見を中心に施策を行うのが素晴らしい発想だなと感じました。	習い事などで、したいことが何でもできるような施策。無償化の制度をふやす。	就職
子供施策という名前なのに39歳まで色々な支援を受けられると知って驚いた。不登校の子にも色々な選択肢をあげているのはとても良いと感じた	外などを歩いているときに眠たくなったら昼寝をできる施設など	結婚して子供を一人か二人ほしいのでそのために頑張って働いてお金をためる
不登校の人たちを支援する仕組みがしっかりと整っていて安心して生きていけるだろうと思った。だけど、整いすぎていて不登校になりやすくなってしまっているのではないかと思った。だから、もともと不登校の人が出ないようにするのも大切なのではないかと思った。	おにクルの図書館がもっと大きくてある本がもっと多くて、借りたいのに借りれないという状況が少しでも少なくなったら良いと思った。	あまり給料が高い職についているわけでもないが一人暮らしで少しずつできる貯金でたまに趣味をするような生活。
不登校の小中学生などに対し、ゲームしたり運動したりする場があって、同年代と関わる機会が学校以外にあるのはとてもその子達にとって安心できる場となっていると思うからとても良いと思った。	大学まで授業料無償化・ヤングケアラーを手助けする人を配置する・小さい子供がいる家庭にもお手伝いさんを派遣する	仕事に一生懸命取り組み、休日には自分の趣味を楽しんでいる。家族との時間を大切にする。犬を飼っている。
茨木市では、子育ての支援だけでなく子ども自身の支援のために、居場所がなくなったときに行ける場所や、おにくるなどの勉強などができる施設があって、すごいと思いました。	学生のためのカフェ兼勉強の施設がもっとほしいです。	仕事をしっかりとこなしつつ、結婚がしたいです。
こども施策について何も知らなかったから少しだけでも知れて良かったと思った。学生の不登校の子やひきこもりの人は社会から孤立してしまうために支援されていることがわかった。相談できない環境にいる人や学校に行けない人は様々な事情があるから支援されることがもっと広まってほしいと思った。	高校生になったときに友達を作れるかが不安だったから、小学校や中学校で交流を作ってほしい。	頑張って働いていると思う。
茨木市は自分たちに、見えないところから手厚い支援をされていて本当に意外でした。自分も茨木市民として大人になったら恩返しをしたいと思います。	大学までの学校の授業料だけでなく、その他たくさんある費用をすべて無償にしてほしい。	結婚していて、自分のやりたかった職業についていて茨木市で暮らしている未来。
何個も子どもに対する政策があると知ることができました。電話とか話し合いくらいしかないと思っていたけれど、ユースプラザなどの子どもが楽しめる場所もあると知って驚きました。子どもたちのために工夫しているのが伝わってきました。	自習室がもう少しあれば嬉しいと思いました。	仕事を頑張っていると思います。
私は茨木に住んでいるけどどんなことが実際に行われているのかは知らなかったので、今回実際に知れて、こんなに子ども政策に力を入れてくれていたんだと驚きました。	通学の定期券の無償化 欲しい本は図書カードを貰えば買える 修学旅行無料 学食無料 全部無料	子どもいると思う 結婚もしてる
茨木市はいろいろな悩みを抱えている子どもや若者に対して手厚い支援をしているなと感じました。市役所の隣りにある建物もなにかわからなかったのですが、今日しれてよかったです。この前そこへ行ったときにちょうどジャズイベントみたいなのをしていて、活気があっていいなと思いました。子どもとかがベンチで寝ていて、気持ちよさそうでした。	全部の高校を原則制服ありにしてほしいです。学校のジャージを無償化してほしいです。屋上に入れるようにしてほしいです。市役所の隣りにある建物はちょっと飾りすぎててハイスペックっぽすぎて入りにくいです。	この頃には結婚して子どもがいたらいいなと思っています。仕事は薬剤師がいいです。橋本環奈ぐらいの美人になりたいです。夫は私が少し働くぐらいで貯金もできて生活に余裕が出る感じの稼ぎがいいです。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
今まで中学校や小学校で不登校の人がクラスに一人はいたと思って1000人くらいは最低いると思っていたけど約800人ほどで想像よりも少なかった。また、不登校の人は学校などに居場所がなくなつて不登校になってしまうから、第三の居場所であるユースプラザはとても良いところだろうなと思った。ヤングケアラーの人は各家庭でケアが必要な人の年代や病気など違いがあるから対処が難しそうだと思った。	みんなが遊べる広い公園みたいなものを作る。	家族と楽しく過ごす。
子どもの定義がよくわからなかったけど18歳を超えていても子どもと定義されることがあるし30歳を超えていても子どもであるを知って驚いた　およそ800人ほどの不登校がいると知って自分が思っていたよりも多くいるんだと知って意外と身近な存在なんだと思った　またその背景にはそれぞれの事情があるんだとも分かった	ボール遊びなど自由な運動ができる公園を作ってほしい	結婚して家庭を持っている
ユースプラザなどを全く知らなかったけど、今回の授業を受けて、「私がもし不登校なら過ごしやすい居場所になるだろうな」と思いました。茨木市の子ども施策の具体的な内容を聞いて、だんだん茨木市が子どもや、その保護者の過ごしやすい場所になっていることを知りました。	年に一度でも趣味に使えるお金がもらえたらいいなと思いました。立場を忘れて遊んだり、相談したりできる場所があればいいなと思いました。	会社員で、子供はいないと思います。たまに仲のいい友達と飲みに行ったり、自分の趣味をしたりしてたらいいなと思います。
茨木市は子供のためにいろいろな施策を取っているのだとわかりました そして、いろいろな市町村の施策についても知りたいと思いました	高校生の給料を上げる	仕事に従事している
自分が住んでいる市町村とは違うが、魅力を多く感じる事ができた。	大学までの支援。	仕事をして、お金を稼ぎ、家を建てる。
茨木市は子どもや家族が暮らしやすくなるように、市民からの声も取り入れて政策を進めていた。	自分は高槻市に住んでいるけど、オニクルのような施設はないので、老若男女誰でも気軽に使える施設がほしい。	結婚したり、子どももほしいが、何よりお金がほしい
茨木市では39歳までこどもだという定義になっていて驚いたと同時に茨木市民に対する政策が充実していていいなと思った。	一人一つまで習い事が無料	助産師になっていて結婚している。
茨木市はより過ごしやすくなるためにいろんな方法で意見を募っていると分かった	ボールを蹴られる公園を増やす	仕事で疲れてるはず
茨木市は子どもに対する施策を重点的に行なっているとわかった。子どもが生きやすい社会になるよう頑張っていってほしいと思った。施策に子どもの意見を取り入れているのはとても良いと思った	大学までの授業料無償化。自由なボール遊びができる公園を多く設置してほしい。	仕事に就いてある程度充実した毎日を送っているかもしれない。
不登校になってしまった子や、学校に行きたくない子のために、第三者の相談相手になってくれたり、その子達のための学校を作ってキャンプなどしたりと様々なサポートがされており、そのこたちはとてもうれしいだろうなとおもいました。	オニクルみたいなところで、時間がある学生が年下の子に勉強を教えたり一緒に遊んであげたりできる制度を設けたら、学年性別関係なく関わることができていろいろなことをまなべることができ、また両親が共働きの人も家で一人ぼっちにならずまた両親も安心して仕事ができるからいいなと思いました。	ペットを飼って、会社員？として働いてそう。
不登校の人が思ってたよりも多く、茨木市ではこの問題に対策するために、ユースプラザと言うひきこもりや不登校の人のための相談支援を行う場所があって、これから不登校の人の悩みが解消されそうで良いと思いました。	公立の学校もきれいな施設になる	結婚して子供をつくって良いパパになる。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
市役所の職員の方のお話を聞き、具体的な計画や目的を知ることができて、とてもいい経験になりました。市役所での仕事は、とてもやりがいがあって、素敵な職業だと思いました。自分自身の周囲のサポート体制を知るだけでなく、自分の将来を考えるきっかけにもなりました。お話を聞けて本当に良かったです。	高槻市では、市役所などの行政機関から子どもたちの意見を直接聞く機会が乏しいです。なので、子どもたちの意見が政策に反映されるようになってほしいと思います。そのために、「夢の子ども施策」として、子どもたちへの簡単なアンケートを定期的に実施することを提案します。	定職について、安定した収入を得る。そして、自分の人生を充実させる。そんな未来にしたいです。
私は、大阪の中でもかなり田舎のところで育ったので、茨木市にはさまざまなサポートを受けられる施設があると知り、とても驚きました。また、私の妹や一部の友達是不登校で、他の人よりも不登校の現状に触れることが多くあったので、授業で聞いたことを通じて、不登校の人に歩み寄ることができたらいいなと思いました。	子どもを預けられる保育園がたくさんある・育児における支援が手厚い(公園や施設の充実)・ママ友同士の交流の場がある	都会に出て仕事中心の生活を送る・もし結婚して子どもができたときは、子どもを安心して預けられる施設に預ける
自分の住んでいない地域の制作について詳しく知ることができて、とてもいい経験になった。不登校などの現在社会の事例にも、積極的に様々な活動を行っていると分かって驚きました。また、「オニクル」は中に入ったことではないので、茨木市の高校に進学したからには、行っておきたいと思いました。	保護者や児童、子ども一人一人のやりたいことができるような環境のあるまちづくりが行われること、現代の社会にあった考え方や政策などがされていること	今目指している職業で、一生懸命前に進んでいてほしいです。結婚や子どもはまだ身近ではないですが、自分の住む地域についてもっと勉強して、快適に暮らせるように今から心がけていきたいと思いました。
自分たちが中学までに受けてきた教育を支えてくれる存在について詳しくお聞きできて、とてもありがたいことだなと思ったし、いずれ大人になったらこどもを支え、応援する立場に立つので、今日学んだことを活かせればいいなと思った。	放課後に、年齢関係なく自由に利用できて、地域の人とも関係を深められるような施設があるといいと思う。	結婚してこどもは2、3人いて、仕事と子育て、親孝行を頑張っている。
不登校に関しては、私の出身中学校でもいたのでまだ身近に感じられますが、ヤングケアラーについては本当にテレビの中のイメージだったので、具体的な施策を聞くことで少し身近に感じる事ができました。また、私が知識として知っている支援者は限られていたので今回様々な支援者を知り、自分が支えることも、支えてもらうこともできるのだなと感じました。私は他の市に住んでいるので、自分の市についても調べてみようと思います。	進学について考える際に、やはりお金のことも考えてしまうので、大学の授業料の何割か補償などの制度があれば未来は広がるかなと思います。	仕事も、結婚も、子育ても両立して頑張っていけていたらいいなと思います。女性も、子育てをしつつ仕事をできることが当たり前になる社会になればいいなと思います。
茨木市では未成年だけでなく、発達過程にある若者も支援の対象に入っていてすごく市民のことを考えていることがわかりました。私は茨木市民ではありませんが、ここまで政策が充実しているのは本当にうれしいと思います。授業を受けて自分の市の政策はどんなことしているんだろうと気になりましたので、調べてみようと思います。	・「おにくる」のような市民が遊ぶことができる施設をあと3つくらい建てる ・自分のやりたいこと(学校で習わないこと、美術・音楽・スポーツなど)が出来たときに習い事の費用を負担 ・子どもの出会いの場として、互いに協力するようなことの大会(簡単なスポーツ・遊び・謎解きなど)を開催する	・自分の趣味を楽しむ ・子どもを育てる
知らないことがたくさんあって勉強になったし、視点が広がった。	全ての子供が自分の夢や目標に向かって不自由なく努力できる環境にすること。 全ての子供がしっかりとした教育を受け日本を安定させること。(上と下の差を減らす。)	結婚して、子供が小学生くらい？仕事はわからない。
自分は春日丘高校に入学するまでは茨木市に関わることはほとんどなかったので、おにくるやユースプラザなどのことは全く知らなかったのですが、この機に知ることができて良かったと思います。	おにくるは勉強スペースなども充実しており、とても使いやすいが、特にテスト期間などは満席の場合が多いと聞くので、おニクルのような施設をもっと増やしてほしいと思いました。	結婚し、子供も産まれ社会人サッカーをしている
茨木市には、様々な子どもに向けた政策が行われていることを知りました。ただ、自分はその殆どの政策について知らなかったのもっと自分が住んでいる地域のことを知るようにしようと思いました。	おにクルのような子どもを含めたすべての人が気楽に過ごすことのできる施設がもう少し増えたらいいなと思います。	自分がやりがいの感じられる職につき、結婚もして小学生くらいの子どもがいて、サッカーが好きなので趣味として続けられていたらいいなと思います。
茨木市には不登校の人や子育てをする人に向けた支援が豊富にあることがわかりました。おにくる以外にも、ユースプラザやhatchのように支援機関が身近な場所にあると市民の生活がより安心できるものになるので、これからそのようなサポートが続くと良いなと思いました。また、ヤングケアラー支援があることには驚きました。今回の授業を受け、様々な支援活動について学ぶことができて良かったです。	おにくるのように、学生や社会人向けの自習、作業スペースがもっと増えてほしいと思いました。	行った大学に関連した仕事や趣味に関する仕事をしていると思う。
私は茨木市民なのですが、ユースプラザのような政策があったとは知らなかったのですが、興味が湧きました。	おにくるや、ローズWAMが混んでいて、受験期やテスト期間は特に席が空いていないことがあるので、自習できる場所がもう少しあればいいなと思います。	仕事をしていて、もし結婚しているなら子育てなどもしているのではないかと思います。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
私も茨木市に住んでいるのでこども施策の話がとても身近に感じられました。特にユースプラザという施設は名前も知らなかったけれど写真だけでもとても暖かい雰囲気の施設なんだと感ずることができました。このような施設がもっといろんな人に知ってほしいと思いました。	私立も公立も大学の授業料を無償にしてほしい。部活動に取り組むために部活動にたいして支援をしてほしい。	仕事に一生懸命に取り組みながら休日は子供と遊びに行っている。
茨木市にいる不登校の人たちの数は全小中高生のうちの約3%と聞いて少なく感じたけど、実際には800人弱、クラスに一人くらいいると聞いて自分が思っているよりも身近にあることなんだと改めて実感させられた。・若者自立支援センターやユースプラザという場所があることは今まで知らなかったのが驚いた。茨木市は子育て支援に力を入れていていいなと思った。	国公立私立問わず大学を無償化してほしい。	結婚はせず独身で、仕事に打ち込みながら趣味にお金をかけていると思う。
茨木市が、茨木市の子どもたちに対してやっていることがとてもわかりやすく伝わった。会議の中に高校生をいれるのは、高校生の意見が会議にも反映されるからとても良いと思った。	不登校など、学校に行けてない人も含めて、すべての子どもたちに配慮した施策	大手の企業に就職して、お金持ちになって結婚もして家庭を持つ立派な大人になりたい
色んな人や施設が子供の味方になってくれるのを知った。800人近くが茨木市で不登校になっているのを聞いてびっくりしたけど、30人クラスのうち1人が不登校と考えたら妙に納得がいった。お手伝いだけでも大変なのに、ヤングケアラーの人たちは身体的にも精神的にももっと大変なんだろうなとおもった。	授業料が減るか無料になる 誰でも給食を食べれる環境にする	ばちばちに仕事をしてるとかではないと思う 自由に楽しんでもと思う
子どもが快適に暮らせる社会になるようにたくさんの政策がされていてすばらしいなとおもった。おにクルはいったことがないけれどとても快適そうなので行ってみたいと思った。ユースプラザの政策がとてもいい政策だと思った。不登校の人、ヤングケアラーの人の多さに驚いた。	おにクルをもっと増やしてほしい。大学の費用を安くしてほしい。	自分がやりたい仕事に就く。
茨木市の小中学生は、1クラスに1人は不登校の人がいると知って驚いた。しかし、自分がいた中学校のクラスにもいたため、茨木だけでなく日本全体で起きていることなのだろうと思った。また、そのような人の内の、家庭と学校の両方で居づらさを感じている人でも安心できるユースプラザという居場所が作られていることを知った。全員が快適に過ごすためには必要なことだなと感じた。	大学の授業料無料	忙しく働いていたい。定職について、仕事をしていたい。できれば、仕事だけでなく趣味にも時間が回せるところで働きたい。
いろんな政策をしていてすごいなと感じた。 1度体験してみたい	お昼の時間を長くする。	自分のやりたいことを存分にやっている。
自分が不登校になったときのことを考えると、すごくありがたい制度が茨木市には充実していて、住みたくなる街だなと思った。	月曜日だけ二限目登校にする	仕事をしている。
自分の住んでいる市の茨木市で子どもに対する施策を行っていたんだと知りました。オニクルは何度も使わせてもらってるので、そういった市民みんなが快適に暮らせる施設が増えていったらいいなと思いました。	広く、野球やサッカーなどをのびのびと行える公園が何度もあるといい。	自分がやりがいを持てる仕事をしている。
僕は摂津市民なのですが、摂津市とは全く異なった施策があり、不登校の生徒を救う仕組みが孤立させないという考えが伝わってきて親切だと感じました。	現在は学校にいき、就職することが当たり前の社会になっていますが、これからは学校にいかず、己の道を突き進んでいく、社会全体として選択の自由な雰囲気を作っていただきたいです。	仕事ではある程度の立場に立って会社を引っ張っていく存在になっていき、体に大きな負担が出ない程度のやりがいのある仕事をしている。また、家族を養い、子どもとともに生活をしていくという未来です。
子どものみんなのためにいろいろ工夫された政策がされていてすごいなと思いました。このような政策や取り組みのおかげで暮らしやすくなっているのだと気づくことができました。	駅の近くの自習室	仕事をしている 犬を飼っている
子どものために様々なことを支援していて、子供のことを考えてくれているのだなと思った。	友達と教え合いながら勉強したいから、話しながら勉強できる場所がほしい。 学校以外の部活動のようなゆるい習い事がしたい。	やりがいのある仕事を見つけて楽しんでいてほしい。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
不登校以外の面での子育て支援の取り組みの内容も聞いてみたかった。	職業体験の機会をもっと増やしてほしい。	独身で趣味を楽しみながら働いているサラリーマンだと思う。
私は中学生の時に不登校の生徒が学年で5、6名いました。その人達はただ単に学校に行きたくないのかなと思っていましたが、ヤングケアラーだったり、行きたくてもいけない理由があることを知って、先入観で決めつけるのはよくないこと、その人達が学校に来られるようになったときのサポートができるようにじゅんびしておくことがだいじだなとかんがえました。	自習室を増やしたり、参考書の無料配布など、中高大学生の教育支援をしてほしい。	将来の夢を叶えることができ経済的に安定しており、不自由を感じない暮らしをしたい
どんな子どもでも楽しめる施設(おにくる)を作っているところが市民に寄り添っていてとてもいいと思いました。また、不登校の子などは孤立してしまうという話を聞いたので機会があれば私自身が寄り添ってあげたいなと思いました。	大学まで経済難の子どもでも行きやすくしてほしい。	働いていると思います。結婚はしててほしいです。
不登校の子に向けて市が居場所を作ったり、人との関わりを作ったりして取り組んでいることを初めて知っていざというときに頼れる場所があることに安心しました。不登校になったら子供だけでなく親も孤立していつてしまうのは想像できていなかったのが驚きました。私は茨木市民ではないけれど30歳まではいろいろとサポートがあるとしくてよかったです。	大学までの授業料の無償化 受けれる高校の数の拡大	今のところ結婚はしたくないし子供もつくりたくないです。だから、キャリアウーマンで働いているか表舞台に立つような仕事をしてたらいいいと思います。自分で稼いだお金は自分に使い、犬やねこを飼って実家を出て自立した暮らしをしてる頃かなと思います。
私は茨木には住んでいないけれど、市がたくさんの政策を考えていたことで、こどもが安心して過ごせていたのだと思った。	子どもが三人以上の場合毎月少し食品が送られてくる制度。夏に歩いて帰っている小学生や中学生が熱中症にならないように小型扇風機や保冷剤などを配布する。職業体験だけでなく、たくさんの仕事を知れる機会やその仕事についている人たちの話を聞く話を聞きたい。 出産後に母親のケアをし、子育てのよいやりかたを知る機会を作る。	助産師の仕事をしながら、結婚や出産もできたらいいなと思っています。
茨木市民じゃないのもあって知らないことばかりでした。	医療費をただにする。	結婚してて子どもがいる
私はあまり不登校というものが身近ではなかったけれど、茨木市の小中高生で不登校の割合が思ったよりも高いと感じた。	子供が制限されずにのびのびと遊び、学べる場所があること。	結婚して子供がいる。
私自身、子どもと関わるのがすごく好きで将来も子どもと関わる仕事につきたいと思っているのでとても興味深い内容でした。私が中学校1年生のときに実際に不登校を経験したので、茨木市の不登校の子たちへのサポートが手厚くていいなと思いました。まだ子どもと関わる仕事につきたいという漠然とした夢だったけど、今日のお話で将来の仕事の幅が広がりました。	高校生と小さい子どもたちで遊ぶ(職業体験やふれあいの場として)	子どもと関わる仕事について、結婚して3人くらい子どもがほしい！（自分が三人兄弟だから）自分のしたいことを思う存分したい。
茨木市は子どものために、おにくるを作るなどいろいろなことをしていてすごいなと思いました。	不登校の子どもたちが、気軽に相談しやすい何かしらを作る(電話番号の書かれた上を渡されてここで相談できるよ！と言われても電話をかけたり、人間と直接話すのはかなり勇気がいると思うから) 必要としていても声を上げることができない人もいると思うので、そういった人すべてにサードプレイスを与えられるようにしてほしい。	結婚して、子どももいて、みんなで楽しく暮らしている幸せな家庭を築きたい。
自分が想像していた5倍以上の子どもが不登校と聞いてすごく驚きました。また、茨木市では不登校の子だけでなくさまざまな子ども、若者に対する支援がたくさんあって良いなと思いました。	大学までの教育費が無償になったり、習い事や部活に対する支援もしてほしい！	医療系の仕事に就いていて結婚して子どもが2人くらいいたら良いなと思います。もしかしたら日本にいないで海外で仕事してお金持ちになってるかもしれません。
茨木市では、不登校やヤングケアラーなど様々な子どもに関する課題を解決するための政策が行われているのだとわかった。また、自分が住んでいる自治体の子どもに関する政策をあまり知らないのので、調べてみたいと感じた。	人と関わるのが苦手な人も、学校にいかずとも通信教育や学校以外の勉強場所で、学校に行っている子と等しく学習の機会が与えられる(学校に行かないことによる学力の差が生まれないようにする)。また、学校に行かずとも、通信教育やタブレットによる課題提出を利用して内申点や単位が取れるようにする。	企業で働きながら、結婚していて一児の母。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
茨木市では、子どもを支援するために色々な政策があると知って、興味が湧いたし、自分の住む地域ではどんな物があるのか知りたいと思った。子どもが安心できる環境が作られることがすごく現実的で期待が高まった。様々な支援方法や支援施設が新しくできていることがすごく子どものためになっていると感じた。	おにクルみたいな誰でも行きやすい施設が増えると良いと思う。	素敵な人と結婚してるといいなと思います。
子どもに向けての様々な政策があり、取り組みがされていることを知りました。不登校の子への支援などに限らず、多くの人を対象としていて、少し驚きました。私は高槻市に住んでいます、これをきに自分の市の取り組みを調べ、知ろうと思います。	誰もが使える自習スペースを増やしてほしいです。学生の勉強の第三の場所になるかもしれません。	結婚をして子育てをしたいと思っています。また、今、仕事と子育てを両立することのできる職業につきたいと思っています。
おにクルについて詳しくは知らなかったので、こんな役割があったのかと思った。	進路について悩むことが多かったので、学校のテストの結果からどの分野が苦手どこを勉強したらいいのかがわかる機能(スタディーサポートなど)を中学校のうちから使いたい	色々仕事を押し付けられてしんどい思いをしていると思う
茨木市では、わたしたちが生活を送るための様々な取り組みを行ったり、挑戦したりしていることが理解できました。子どもへの支援が充実していることで、安心した日常を送れるということを強く感じることができました。	将来の夢を見つけるために、学校の授業などでも様々な体験(職業体験など)ができるようにする。	仕事など
こどもの含む範囲が39歳までというところに驚いた。こどもや家族に対して切れ目ない政策を続けることで不安を減らす取り組みはとても安心だと思った。また社会に馴染めない人に対するの支援も幅広く、身近なものになっていることがとてもいいと思った。	兄弟や姉妹など、複数の子どもをもつ家庭も、経済的な理由で諦めることなく習い事を選んで続けることや、自分が望む進路が選択ができる。	好きな仕事をしながら自分の趣味を続けてたい。たまに日本のいろんなところに旅行したい。
不登校の対策を手遅れになる前にしたり、おにくるなどすごくいいせいさくだと思った。目標や方針をたてるためにかなりの時間を費やされていて信頼できると思った。	自分が小さい頃近所に大きい公園が無かったので遊具が沢山ある広い公園が欲しい。図書館にもう少し図鑑や漫画の冊数を増やしてほしい。と小さい頃思っていました。	獣医になりたい。
子供を育てるのはとても大変なことであると同時に子供、若者自身も色々考える時期であるため地域で解決の為動いている人達がいることがわかった。アンケートなどで人々の意見が反映される仕組みもあることも分かった。	みんなで集まって勉強できる場所をつくる	仕事をしていて、相手がいればいてもいいと思う
不登校や、ヤングケアラーなど、思ったよりも身近に子どもに関する問題があって、それに対する施策を考えてくださっているんだなど分かった。茨木市民だけれど、ユースプラザについて知らなかったから、もっと色々な情報を集めてみたいと思った。	私立大学の学費を支援してほしい。	自分が学んだことが活かせる仕事をしていてほしい。結婚していてほしいなと思う。子どもを養う覚悟はないなと現時点では感じる。
子どもが安心して学校に行くために茨木市はいろいろな取り組みをしていて、クラスにも不登校の人がいるのでその人のためにできることをするのが大切だと思った。	将来の夢を応援するために、職場体験を増やしたりして仕事について学ぶ機会を多くすればいいと思う。	できれば結婚して子どもは作りたいと今は考えていて、自分は仕事と子育てを両立するワークライフバランスをうまく行いたいと思う。
私は茨木市民ですが、ユースプラザという場所があるということは全く知らず、とても興味深かったです。また、中学校3年間、どの学年でも不登校の人が1人はいて、その中には仲がいい子もいたので少しは知っているつもりでしたが、私達が学校に行っている間、どんなことをしているのかなど、知らなかったこともたくさん聞くことができ、もっと不登校についても調べてみようと思いました。そして、市役所の職員さんたちが考え、実行してくださった施策についてもっと知りたいと思いました。	テーマパークがほしい。	大阪市内、もしくは周辺で就職している。もしくは大阪を出て関東で就職。
自分が茨木市に住んでいるわけじゃないけど、茨木市が子供の未来のためになにをしてるのかどんな取り組みをしてるのか、いまの不登校とかの実態とかそれに対しての政策を知れた。市町村が子供政策を通してなにを実現させようとしているのかを考えることができた。	学校の授業料を私立公立関係なく無償にする。育児にかかる金銭的負担を軽減する	何かしらの形で働いて家族と暮らしてる
茨木市は大阪でも大きい市のため不登校の人や病気の人も多くいると知りました。そういう人の不安などを0にすることは難しくても減らそうとしていることはとてもいいことだと思いました。	学び無償化	独身　サラリーマン

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	２０年後のあなたの未来を教えてください。（３５．３６歳くらい）
自分の幼稚園からの友達が中学から不登校になったのを思いながらこの話を聞いていました。理由は私もわからなかったし、700人ぐらいそのような人がいると聞いて驚きました。不登校になることは悪いことではないと思うけど、本人が苦しくなるのは事実だと思います。だから不登校の子が少しでも少なくなればいいなと思います。	おニクルのような子どもから高齢者が快適に過ごせる施設を増やす。	仕事をして、良い父親になる。
茨木市の子供達のために様々な取り組みがされており、そのことによってより暮らしやすく学校にも行きやすい環境を作ってくださっているということを知り、ありがたいなと思った。	授業料が大学まで無料になる制度。	結婚して子供が産まれて一緒に暮らしている。
茨木市の子ども施策についてなにも知らなかったから、自分も困ったことがあったときに活かしていきたいなと思った。	誰でも行きやすく、相談しやすい施策と思われるように、施設を増やしたり、たくさん施策について拡散していけたらいいと思う。	人の役に立つ仕事や結婚もして、子どももいて楽しい生活をしていると思う。
茨木市には、悩んでいる子どもたちを救う様々な支援があることがわかりました。また、すべての子どもが快適に過ごせる仕組みが整っていることがわかりました。	幼児や小学生などの子どもたちと地域の大人とが交流できるイベントを行えば、子どもたちが楽しめるだけでなく、参加したすべての市民が楽しめるため、効果的であると考えます。また、子どもたちの茨木市への愛が向上すると思います。	仕事については、現在、科学に興味をいだいているため、科学に関係する職業につきたいと思っています。子どもたちとの関わりも大切にしたいです。
不登校の人を見放すのではなく、茨木市全体で協力してコミュニティーを広げていくという所がすごくいいし、学生も安心できるなと思った。	おにくるという存在を知らなかったけれど、すごく興味が湧いたしとてもいい施設だと思ったので、茨木市以外にも設置してほしいです。	今のところ結婚や子供が欲しいという願望がないので、仕事に打ち込んでいると思う。
不登校の人やヤングケアラーの人などすべての人を助けようとする施策がたくさんありとてもいいなと思った。人口が増えている街でも少子高齢化が進んでいることに驚いた。子供が中心となっていく会議も面白いなと思った。	府立高校で上位の人の学費免除	結婚して子供がほしい
不登校の学生などのために茨木市はいろいろな政策を行っていることを知った。生活で困ったときに気軽に相談できたりするのは心強いなと思った。	教育費の無償化・電車の運賃を高校生まで未成年価格	給料がたくさんもらえて、労働時間がそこまで長くなく、労働環境が良い仕事に就きたい。結婚して子育てもしたい
茨木市には約800人の不登校の児童がいると知り驚きました。なぜなら自分がもともといた中学校や高校にも不登校の児童はいたけどそれも数人でそんなにいるとは思わなかったからです。いろいろな理由があると思うけどもっとおおくの人が楽しく学校に通えるようになってほしいなと思った。	茨木市民の人の意見を集めるような投票箱を市役所に設置してもっとみんなの意見が取り入れられるような政策	職場の人たちと仲良く仕事に励んでいる。
全国の不登校の数が意外と多いと思いました。そして、おにくるに行ってみたいなと思いました。	高校の授業料無償化	研究員になっている。
18歳になったから支援を打ち切らないのがよく考えられているなあと思った。	おにくる2号建設！	看護師になっていて、がんばっている
こんな施策を行なっているとは知らなかった。	返済義務のない、奨学金のようなシステムを新たに作ってほしい。	茨木市内に住んで仕事
不登校のこのためにユースプラザの活用をするなど、社会戻るための施策をされていていい市だと思いました。	大学進学への支援をしてくれる	仕事をして趣味を楽しんで生きている。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
私達子どもたちの気づかないところとところでたくさんセーフティネットが用意されているんだと発見する機会になった。もし私が学校が嫌になって不登校とかになったとしても、そういう新しい道を作ってくれる機関があったら絶対に安心できると思うし、心の余裕にも繋がるのかもしれないと感じた。	様々な事情から不登校になっている子どもたちが少しでも家から出られるように、参加者の指定のないグランピングやキャンプを開催する。そうすれば普段の環境から離れて、自然に触れることで心も身体もリフレッシュ出来る機会になると考えた。キャンプやグランピングの中で参加者に向けて自分自身の悩みを打ち明ける時間を設けてるなどもいいと思う。	やりがいのある仕事に就いて子供も持って、今までお世話になった両親や、その時築いている家族にたくさん愛情を注げるような人間になりたい。
他の市町村よりも子供に重視した施策をやっているのがわかってすごいと思った	子供を産む	仕事
不登校の人は吹田市の中学校にも1クラスに1人はいました。自分も今まで不登校になりたいって思ったことが数回あり、そのたびに親に学業の追いつきについて問い詰められたことを思い出しました。	大学の授業料の無償化	仕事で生計を立てる
思っていたより政策が充実していた	交通費無料	仕事をしていたい
茨木市が自分が思っている以上に子ども政策をたくさんしてることに驚きました。	指定校の枠をもっと増やす	子育てに励む
茨木市は子育てをする人を思い、便利な施策をたくさんしていると分かりました。	大学まで授業料無償の施策。	自分の好きな仕事を続けてバリバリ働いているか、結婚して子どもを生んで家庭に入る。
私は茨木市民ではないので、他の市での取り組みについて知ることができるいい機会になった。	どんな状況の子どもも平等に人生を送れるような施策。	結婚して、子供を産んでいる。
茨木市は子ども支援のことをよく考えていると思いました。子ども育成支援会議も子どもを中にいれることでより良い議論ができるようになると思います。	給食の無償化 高校の教科書を無償化にしてほしい 大学の無償化 エレベーターをすべての学校につけてほしい 習い事の費用の負担軽減してほしい	仕事をしているでしょう。
大阪市の時と全然違うなと思ってびっくりしました、	不登校を少なくしたい。	結婚して幸せな家庭を築いてる。
中学校の時学校に来ない人がクラスに一人はいたのですが、不登校の人数が全体で見ると思っていたよりも多くて、自分にとってとても身近な問題なんだと改めて感じました。ヤングケアラーは自分から自分がヤングケアラーだという人は少ないと思うので、半年から一年に一回くらい調査をしたり、話を聞く機会を設けたりして、そういう人たちが言いやすいような環境を作ることが大切なのかもしれないと感じました。	高校でも中学校の時みたいに教科書を無料配布して、お金の理由で部活に入ることを諦める人がいないように、学校や市から部活にもっとお金を配ってほしい。すべての子どもが保育園か幼稚園に通えるようにしてほしい。塾に通うのはとてもお金がかかるので、もっと家計に優しい、勉強する場所がほしい。	もう結婚していて子どもが小学校ぐらいで大きくなっていて、仕事に復帰している。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
自分は市外の人間であることもあり、初めて知る事が多くて驚いた。特にこども・若者支援を中学生までなどではなく、3,40代でも受けられる物があると知り、暮らしやすい市だなあと感じた。	大学学費無償	趣味と仕事を両立していきたい
色んな事情を抱えている子どもへの施策が自分が思っていたよりも多く行われていて正直びっくりした。おにクルにまだ行ったことがないので、行ってみたいと思った。	医療費がほぼ無料・入学費などの免除	すごく仕事をしていて、結婚はしていると思う
自分は吹田から来ているので、茨木のことあんまり知らなかった。 今日の話聞いて茨木は子供のことも考えてる事がわかってすごいなと思いました	学校を無償化にしてほしい	子供
茨木市では、大人から子供まで支援できる政策が設けられていて、幅広い世代に寄り添うことができていたと思った。生活に困っている人だけでなく、私達も利用できるような施設もあり、過ごしやすい環境が作られていると思った。	地元の住民や学生が使えるスポーツ施設や自習室	仕事を続けている。
不登校の理由を聞いて、自分はいじめられるんじゃないかとか、クラスメイトを怖いイメージで想像していまうから余計学校に行きにくくなると思った。	高校生対象のサマーキャンプみたいなのがあったらいいなあ思う。 なぜなら、中学校で同じだった人の全員とまた合う機会は成人式のときしかないから、もっと、集まるきっかけを増やすと日々の生活にスパイスを加えられると考えたため。	何かの会社の社員として働いてるか、今の自分が考えもしないような仕事をしていると思う。要するに、(仕事が全てではないが)働いている。流石にその歳になる頃には結婚とか子どもとかがいたらいいなと思っている。
初めて知る、茨木市で行われている政策がたくさんあってどれも興味深いものだった。将来そういった政策にお世話になる日が来るかもしれないので今のうちに詳しく知ることができて良かったです。	おにくるみたいな場所があと2つぐらいほしいあともう少し自習スペースやいすを追加してほしい 無料の遊園地がほしい	自分がやりたい仕事を見つけてそれを頑張っている。独身
初めて知ったことばかりだった。子供向けにたくさん支援があってびっくりした。	みんなで気軽に遊べる遊園地がほしい。気軽に勉強できる広い場所がほしい。近くの地域の子供と旅行に行く。	仕事が安定してて結婚していて子供ができて安定したくらしをする
子どもに関する政策について、知らなかったことばかりでした。これまで子育てというと、とにかく大変というイメージでしたが、もっと行政が支援をしてくれるのであれば、イメージも改善していくのはないかと感じました。	すべての世帯が行政や公共サービスについて適切に理解し、手軽に利用できるような広報活動。 返す必要のない奨学金の規模の大幅な拡大。 子どもに関わる職業(特に保育士)の給与を上げる。	博士号をとり、大学で教授の助手として研究に携わりつつ、自身の研究を行う。ペットとしてしじみを飼い始める。 結婚し、養子縁組制度を利用して子どもを養子として迎える。
私達が暮らす茨木市には、すべての子どもが安心して暮らせる仕組みが私が思っている以上にあることが分かった。ユースプラザも、家の近くにあるけどなんの建物かはあまり知らなかったから、キャンプやゲームなど、楽しい取り組みがたくさん行われているということが分かった。	学習スペースを増やす 鍵っ子が夜一人にならないような取り組み	子どもを育ててるのに必死
茨木市にはたくさんの子ども政策があり、支援が充実しているんだなと思いました。茨木市だけでなくもっと他の市でも支援の輪が広がってほしいなとおもいました。不登校のなってしまったら、子どもも親も不安だと思うので、行政が支援してくれると安心できるなと感じました。	大学まで無償で通える。	仕事
茨木市こども育成支援会議の高校生委員が1人しかいないからその人だけの意見が高校生全体の意見みたいなふうに捉えられて意見が偏ったりしないのかと思った。	子どもの交通費無償化。	普通の安定した仕事に就いてできれば結婚できたらいいなと思う。
こども健康センターと子育て支援総合センターを一体化するなど、利用者の利便性を考えたり、当事者の意見を聞こうと子供育成支援会議のメンバーに高校生枠を設けたり、より良い子供政策のためにたくさん改善していることが分かり、すごいと思った。	保育士や学校の先生も子どものことについて相談できる場所を作る。	結婚をし、仕事もしている。旅行が趣味でよく行くようになる。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
不登校の子が周りにも割といるということを知って、ユースプラザがあるということやその活動内容など知らないことばかりでもっと調べたりして知っておきたいなと思いました。どんな人に支援が必要なのか、支援センターではどんなことをしているのか、どんな人が会議をしているのかなども知れて良かったです。今までこども制作に関するお話を聞く機会がなかったので貴重な経験になりました。	大学受験を控える身としては、お話の中にあったように大学まで授業料無償化があればほんとに助かるんだろうなと感じました。	美味しいご飯が食べれて、趣味もある程度楽しめるくらいの安定した収入と、休暇の取得できる仕事についていてほしいなと思います。今は正直結婚願望とかないので想像はしにくいですが、結婚してるかもしれないし独り身人生を楽しんでいるかもしれないです^^幸せに生きていてほしいです。
茨木市は子供の未来のためにいろいろな施策をしたり、子育てセンターを設けたり、子育て世代に良い施策をたくさんしていて素晴らしいと思いました。	子供の孤立や不自由がなくなり、子供がしっかりとした大人になれること。子供が幸せになれること。	子供のためにたくさん働いて、たくさん遊ぶ。子供の将来のためにとても頑張る。
茨木市には、不登校やヤングケアラーの子どもたちを支援する取り組みがあり、また子どもが地方自治に参加できるような施策が行われている。	教育費無償	とうだいそつ
茨木市は幅広い世代の市民に寄り添っていると強く感じました。特に不登校の子には言ってくださいというのではなくて行きたいと思ってもらえるような取り組みなのがいいと思いました。	私は、茨木市には賢い学校が多いのでその学校に通っている人やその学校に行きたいと思っている人たちに向けて勉強に関する施設があるといいと思います。例えばもう一つおにくるをもう一つ作ってそこにはたくさんの参考書や問題集が置いてあったり勉強を教え会える空間、教えてくれる人が常時いてくれると良いと思いました。月に一回クイズ大会などの交流会を開催するのもいいと思います。運動(スポーツ)がたくさんできる施設もほしいです。いつでも借りれる体育館やピラティスなどでもできる場所がほしいです。	家で猫をかつている。仕事はまあまあ楽しめるところで年収も500,600万くらい稼いでいる。結婚しているかは微妙。そこそこに人生を楽しんでいると思う。
自分が知らないような場所で、不登校の子を支援するような体制が整っていたり、地域の人々も利用することができるような場所があったりして素晴らしいと思った。また、市民の意見を聞く、「こども育成支援会議高校生委員」のような活動をすることで、よりよいまちづくりをしていくことができるのではないかと思った。	オニクルのような地域の人々が利用することができる施設をもっと増やす	年収800万アパートぐらしの独身。アパートは駅近で、一ヶ月5万円以下。一週間に一回はハーゲンダッツを食べる。都市部に住んでいてほしい。貯金は2千万円くらい。
18歳までで支援が切れるのではなく、長くて39歳までは支援を受けられるのはすごく安心できていいなと思いました。そして、不登校やひきこもりへの支援が当事者だけでなく保護者にも寄り添っていたり、アンケートを実施して本当に支援できているかをチェックしていてすごいなと思いました。	珍しい習い事を月1などでコミュニティセンターなどで行う	法律系の仕事に就いていて、結婚はしていないと思います。
第3の居場所という言葉は知っていたけどユースプラザという存在や、在り方を知らなかったから言い学びになった。具体的に、ゲームをしていたりするだけでなく外での行事もあって、本当の学校のようなと思った。不登校の人、その家族へのサポートがもっと有名になったらいいと思う。	子ども同士だけのマッチングアプリをつくって、同じ境遇の人と知り合ってみたい。	子どもは産んでいない気がする。仕事をちゃんと頑張って結婚はしたい。
市で働く方の話を聞く機会なんて中々ないので、とても貴重な体験でした。実際にどんな事が行われているのかなど知ることができてよかったです。茨木市に700人以上の不登校の子がいることも知らなかったのがよかったです。	私は夢の子供施策として、茨木市だけでなく全国各地で全国民が子供に対する理解を深められるイベントなどを設けたらいいなと思いました。おにクルのように子育てになれていない人が気軽に相談できる所を他の市にも作って欲しいと思います。他にも、学校に行きづらい子が少しずつ学校に行けるようにする為に学校側がもっと不登校に対する意識を深める取り組みをするべきだと思います。私の中学校では不登校の子が何人かいたのですが、中学校があまりいい反応をしなかったのになかなか通えるようになっていませんでした。なのでもっと学校がそういう取り組みをしていけば良いのではないかと思います。	私はそこそこいい収入をしている人と結婚して子供が2、3人いるといいなと思います。
子どもだけでなく39歳の大人まで支援してくれるのはすごいなと思いました。家や、学校に居場所がなくても無料でいられるスペースがあるのはすごいとおもいました。地域の人が住みやすいようにいろいろな政策があることがわかりました。	大学の授業料無償化	結婚して子ども2人、看護師

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
想像していたよりも施策が充実していて驚いた。茨木市のサポートによって不登校だった人が学校に行けるようになったと聞いて、そういう人がもっと増えたらいいなと思った。	おにくるのような施設を増やす。	東京で働いていっぱい稼ぎ、自分のしたいことをしまくる。
市や行政が具体的にどのような政策をしているのか、どういった制度があるのかについて知る機会がなかったので、新鮮に感じた。自分の市ではどんな政策しているのか調べてみたいと感じた。	高校にも給食制度導入	会社員 独身 一人暮らし
どんな人でも楽しめるような場所があることを知って、一回でもいいから行ってみたいと思いました。	とても充実した設備が揃っていたらいいと思います。	いろんな人から信頼されている人になりたい。
ヤングケアラーなど、大変な思いをしている若者や、その若者たちのために行われている支援は自分が思っている以上に多く、たくさんの方の相談所などをつくり負担の軽減を図っていることを知った。自分にとっての「若者」とは、成人の18歳までというイメージが強くあったけど、この活動では39歳まで手厚く支援してもらえるということを知り、そのおかげで救われる人も多いのかと考えた。	おにクルのような施設をもっと沢山つくり、どんな人でもいつでも行きやすいような場所が沢山あると嬉しい人も多いと思う。	今はまだ将来の夢とか決められていないし、あまり深く考えたことがないけど、自分の好きなことを仕事にできていたら嬉しいと思う。医療、薬学系で大変だとは思うけど、少しは楽しみながらやって行けたら嬉しい。結婚や子供は、したいと思えるようになったら変わるかもしれないけど、結婚したり子供が出来たら日々の生活が余計大変になるだろうし、仕事との両立が自分には難しい気がするから今はするつもりは無い。
茨木市は子どもだけでなく、39歳までの人が支援を受けられることを知りました。今まで知らなかった支援の種類を知れてよかったです。茨木市の子供の意見を聞こうとする姿勢がすごく良いなと思いました。私も茨木市がより過ごしやすい市になるようにできることがあれば積極的にしていきたいと思いました。	大学までの授業無償化、子育てにかかる費用の削減	医療系の仕事について結婚して10歳くらいの子供がいる。
茨木市は子どものために、様々な政策を行っていることがよく分かりました。私には中学校の頃、不登校だった友だちがいたのですが、もっと自分がうまく行動できていたら、もっと支援機関に頼ることができたかと考えてしまいます。生まれるかもしれない自分の子どものためや周りの子どものためにも、住む街の政策についてはよく調べようと考えました。	ボール遊びができる広い公園を住宅街から少し離れた場所に作る	美味しいご飯を食べられて、趣味に割く時間があれば最低限は大丈夫
自分が知らないところで困っている人がたくさんいて、その人達を支援する様々な取り組みが行われているのだなと思いました。今若者が減少しているなか、色々なことに気を使わなくてはならず、つらい思いをしている人を助ける制度があるのはとても良いことだなと思いました。将来、人を助ける仕事をしたいと思っていて、こども政策課の授業を受けて、困っている人に手を差し伸べる方法はたくさんあるんだなと思いました。	大学までの授業料無償化。興味のある職業の話を聞ける機会があればいいな。大人と子どもが一緒に楽しめるイベントがあればいいな。子どもが寂しい思いをしないようになったらいいな。子どもや小中高生、大人が交流できる場があるといいな。	人を助ける仕事をして、結婚して幸せに暮らしたい。
不登校の人やヤングケアラーの人たちを支援するための窓口が市内に何箇所か設置されていることを知り、とても心強いなと思った。ぱーちスペースが自分の通っていた中学校の校区内にあったので、よく友達と行っていた。そこで色んな人と繋がれて良い思い出がたくさんあるので、改めて後輩とかにおすすめしたいなと思った。	桜通り、川端通りの遊歩道を歩行者と自転車別々にして欲しい。	結婚して、子どもを持ち、安定した収入を得られる職で家庭を支える。
自分の住んでいる茨木にこんなものがあったなんて知らなかった。家や学校、職場に居場所がない人に居場所を作ることはとても重要なことだと思うし、自分も住んでいて安心だなと思った。	自分の家の前か交通量が多いので横断歩道が欲しい。	安定した職につき、結婚して子供が1人ぐらい欲しい。
不登校の子たちには、その子なりの事情があると思うので、それにしっかりと寄り添って家族ぐるみでフォローをしていくのはとても良い取り組みだと思った。また、子供が生まれる家庭にもサポートがあるのはとても安心できるなと思った。	子供が雨の日でも遊べるような無料の施設が欲しい。トランポリンやプールなど	結婚していてほしい。衣食住が困らないぐらい収入があってほしい。

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
お金関係だけでなく、子供のための居場所や未成年だけでなく39歳までの若者まで支援をしていることに驚いた。このような支援があることを知らずに苦しんでいる人達が沢山いると思ったから、このことを広めたいと思った。	お金が沢山かかるけど学校をもっと過ごしやすいものにする。空調設備とかトイレを綺麗に使いやすいものにしたリ、教科書類をタブレットやパソコン1台でできるようにしたりする。学校が家よりも楽しく過ごしやすい場所になれば不登校の子供は減ると思うから。	どこかの企業に就職している。結婚もしていて小学生くらいの子供が2,3人いる。できれば一軒家に住む。生活も子育ても苦労しないような生活をする。
自分が住んでいる地域の外では、さまざまな政策があると知ることができた。大きな建物があってその中で色々な事ができるのに驚いた。不登校に対する対応が自分は知らないだけで結構手厚くあるのだとした。自分たといえそうなってとしても少しは安心できるのかなと思った。	学校の先生を自由に選べる。 オンラインで学校の授業が受けれる。	結婚してかっこよくてかわいい息子娘がいて他の人の役に立つような仕事または海外でも活躍できるような仕事についていてお金持ち。親孝行を完璧に終える。
茨木市民ではあるけれど、ユースプラザなど知らないことがたくさんあったので、これから活用できる施設などがあったら活用していこうと思った。	今、身近に感じるものでいうと、茨木市の学習室を利用することがあるのでもう少し席を増やしていつ行っても使えるようにして下さると嬉しいです。	仕事がいしっかりと安定していいて、結婚できていたらいいなあとと思った。
不登校の子供に寄り添うだけでなく、その人の親にも寄り添って家庭環境から変えようとしているのがあまりないやり方ですごくいいなと思ったし、施策に子供の意見を取り入れようとしているところはたくさんあると思うけど、実際に高校生を会議に入れるのが本気で取り組んでいてすごいなと思いました。	大学まで授業料無料	自分の好きなこともしながら仕事をしている。
自分の住んでいる街の話ではないが、いろいろな対策がされていることがわかりました。不登校の子が通いやすくするための工夫が備わっていることを初めて知りました。	幼稚園の子から高校生まで年齢や性別関係なしに楽しめる場があったらいいなと思う。	結婚していて仕事しながら両立していたらいいなと思う。
ユースプラザという施設を初めて知り、若者の交流のきっかけになったり不登校、ひきこもりの人が外に出るきっかけになったりと、様々な人の新たな居場所となっていていいなと思いました。	茨城市の他の学校の様子を知る機会を設ける。	仕事をして安定した生活を送れるようにしたい。
・市などが一体となって不登校の家庭を保護や支援をするのがすごいと思った。 ・一人でも多くの市民の意見を聞き入れようとしているのがすごいと思った。	ヤングケアラーをなくし、みんな平等に勉強の質が得られることを考えました。	結婚していて、子供もいる。 両親2人とも仕事している。
昨年高校の説明会のときに「おにくる」の近くを通ったことがあったのですが、その時そこがどういう施設なのか知らなかったので今回知れて良かったです。確かに、おにくるには子供連れの方がたくさんいたなと思い出しました。	・大学までの学費を全て無償化 ・高校までを義務教育にする ・危ない道の整備 (歩行者専用・自転車専用の歩道どちらもある道をつくるなど)	結婚はしている・4歳くらいの子供がいる・英語が堪能になっている・料理が得意
茨城市の子育て環境が充実していることは以前から知っていましたが、実際に今日授業を受けて、現在行っている取り組みやその活動の目的を知ることができました。このような機会でない自分たちが住む町の行政や活動について理解を深めることはできなかったと思うのですごく良い時間を過ごすことができました。	子どもたちがやりたいと思ったことに挑戦できる環境づくりや市内に住んでいる他の子どもとの交流イベント	私は20年後、仕事を日々頑張り、楽しみながら自分の目標に向かって自分なりに進んでいると思います。
最初茨木市の不登校の生徒数を聞いた時は多いのか少ないのかあまりわからなかったが、クラスに1人ぐらいとおっしゃってたときは自分の中学校の時より少なくて茨木市は不登校の生徒が少ないんだなと思った。そして不登校の子らや生活に困ってる人らを助けるための手段が豊富にあることがその人らにとってすごくいいことだなと思った。	日常型の子供食堂をつくって低価格かつ高い栄養が取れるような食べ物を食べさせてあげる	結婚して家族を養うために働きます
様々な資料を通して今の学校に行けない人の事情やそれを解決するための方法を具体的に述べていて大変わかりやすかったです。とくにユースプラザ設置は初めて知ったので驚きました。	もう少し本に触れる習慣をつけるために図書カードなどを生徒に配布したりする	企業に入って普通に働く。
本日の子ども政策課の授業を受けて心を閉ざしてしまった人には周りの支援が大事だと思った。行政の仕事をしれてよかった	子供を全員が育てる	仕事

本日の茨木市こども政策課の授業を受けての感想を記入してください	あなたが考える「夢の子ども施策」を自由に記入してください。	20年後のあなたの未来を教えてください。（35．36歳くらい）
僕は吹田市民で春日丘高校に通っているだけであまり茨木市のことは知らなかったけれど、様々な施策を進めていると分かった。茨木と聞いてこどもの施策をを連想することはなかったから、驚いた。とても素晴らしい施策だと思うからより広報に力を入れるよう頑張してほしいと思った。	給食おかわりし放題	結婚して子供が8才くらい、家事を率先してできる夫になりてえ
私が知らないだけで、こどもに関わる政策がたくさんされているんだと知りました。	子供の欲しがっているものが揃っている施設。	結婚して、英語の勉強のために海外に住んでいる。
子ども目線の考えを取り入れてくれるのはありがたい、なんとなく自分もまちづくりに参加できる気がする。しかし、自分は茨木市民ではないのである。そこが残念。	子どもに対する社会において絶対知っておかなければならないこと(税金やら人間関係やら)を教えてくださいな	絵に関わる仕事につきたい 結婚子どもはわからない、想像がつかない
茨木市で不登校の学生が800人程いたことに驚きました。	家族にも話せない学校での嫌なことや家庭内での悩み事などをプライバシーを守りながら気楽に相談出来る場所を設ける。	薬に関わる職に就いて病気で苦しんでいる人の手助けをする。結婚はしていない。
自分は今とても楽しく学校を過ごせているけど、そうやって過ごせているからこそから、学校に行くのが辛い人たちに目を向けるべきだと思った	国公立大学進学が無償化	結婚はしてて、いい感じに稼げてて、子供は二人いる
学生全体に占める不登校の学生の割合が高いなど、子ども関係で様々な問題があるということが知れた。その問題を解決するために、施設を利用して学校に復帰出来るようにしているということがわかった。	親が忙しくてご飯が作れない家庭の子供とご飯を一緒に作って食べること。	仕事をして忙しい毎日をおくっている。
途中までしか折れなかったけど、不登校の子が多くて驚いた。	不平等な事がないように、政府は家庭の状況を把握出来るようにする。みんなで協力する！	仕事をして、今はお母さん達に頼ってることも、自分で全部頑張る
ずっと茨木に住んでいたけど、こんなにもいろいろな施策があるということを知ってすごく驚きました。ユースプラザというところを今回の講座で初めて知りました。スタッフの方もアットホームな感じで接してくれるということで、誰でも来やすいし実際に不登校から登校できるようになった人もいるということすごいなと思いました。	おにくるみたいな世代を超えた交流ができるような場所がもっと増えたらいいなと思います。そこから新しい出会いが増えると思うのでいいと思います。学生にとっては勉強するスペースが増えるのでそこも嬉しいポイントかなと思います。	ある程度安定した収入が得られる会社で楽しく働きたいです。結婚は35.36くらいにはもうしていて子供もいたらいいなと思います。楽しく幸せに暮らせてたらそれでいいです。
茨木市で行われている政策の内容が分かった。 自分が住んでいる大阪市についても知りたいと思った。	おにくるがもっとたくさんできる。	結婚！！！！
高校生ではまだ政治に参加できないとおもっていたけど、茨木市の子ども支援会議で僕ら高校生でも参政できると知ってとても興味が湧いた。高槻市民なので、高槻にも高校生が政治に参加できる場所がないかを知りたい	私たち高校生は、未来をつくるのは子どもたちだと思っています。でも現実には、家庭環境や学校、人間関係など、さまざまな理由で笑えない子どもたちがたくさんいることも知っています。だからこそ、「全ての子どもが夢を持って、自分らしく生きられる社会」を目指して、考えました家庭の事情で十分な食事ができない子どもが、あたたかいごはんを安心して食べられるように、学校や地域に「子ども食堂」を常設します。地元の人たちやボランティアと一緒に、食を通じて心もあたたかくなる場所をつくります。	仕事で稼いで海外に旅行に行ってます